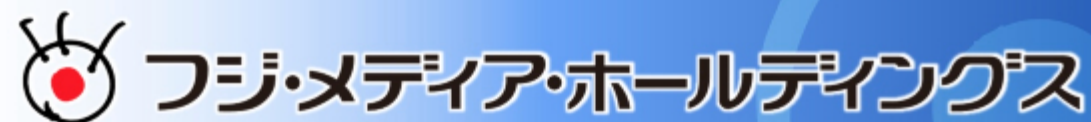


2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明会資料

2024年11月18日



目次

1

2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

2

2025年3月期 通期業績予想とトピックス

3

株主への利益還元

4

中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み

5

サステナビリティの取り組み

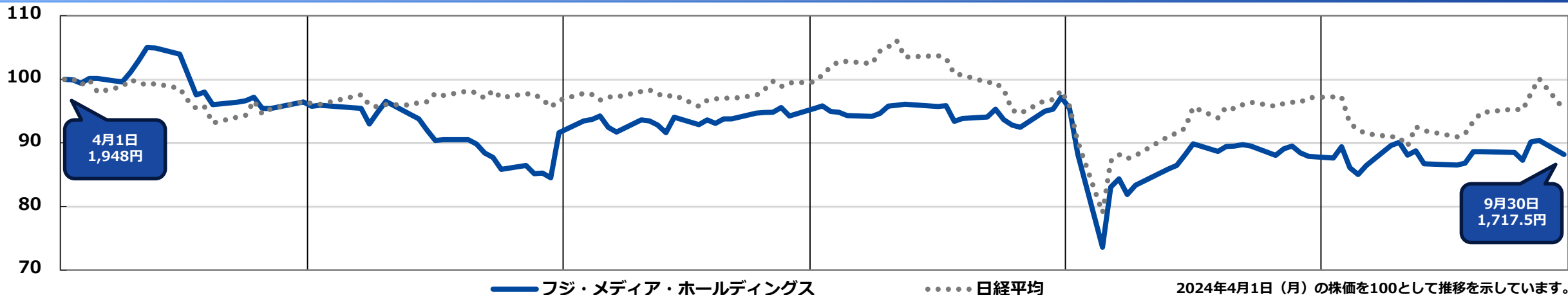
6

参考資料

目次

- 1 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

今期の動き



	4月	5月	6月	7月	8月	9月
FMH	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式取得上限150億円 取得開始 自己株式 36.1億円 (188.6万株) 取得 「グループ人権小委員会」発足 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 29.5億円 (167.7万株) 累計：65.6億円・356.4万株 取得 	<ul style="list-style-type: none"> 譲渡制限付株式報酬制度 導入 自己株式 7.6億円 (42.2万株) 累計：73.2億円・398.7万株 取得 	<ul style="list-style-type: none"> 譲渡制限付株式報酬として 自己株式 0.7億円 (4.0万株) 処分 自己株式 6.6億円 (36.4万株) 累計：79.8億円・435.1万株 取得 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 16.0億円 (98.5万株) 累計：95.8億円・533.6万株 取得 	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式 7.9億円 (47.0万株) 累計：103.8億円・580.7万株 取得
メディア・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 『めざまし media』のローンチから2ヶ月目で月間1000万PVを突破 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ インドIT企業「テックマヒンドラ社」と戦略的パートナーシップ締結 仙台放送 「眼からはじめるやさしい街づくり」連携協定を締結 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ Netflixとコンテンツにおけるライセンス契約を締結 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 「FNS27時間テレビ 日本一楽しい学園祭！」放送 「パリオリンピック」放送（～8月） AVOD月間再生数1億1,073万再生を記録 「お台場冒険王2024」開幕 映画「逃走中 THE MOVIE」公開 ニッポン放送 開局70周年 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 「FOD」有料会員数150万人突破 映画「赤羽骨子のボディガード」公開 	<ul style="list-style-type: none"> フジテレビ 映画「スオミの話をしよう」公開
都市開発・観光		<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル等 「神戸須磨シーワールド」・「神戸須磨シーワールドホテル」・「須磨海浜公園」国内初取得となる「CASBEE街区2023年版Sランク」はじめ、様々な環境認証等を取得 	<ul style="list-style-type: none"> グランビスタ 「神戸須磨シーワールド」・「神戸須磨シーワールドホテル」開業 サンケイビル・グランビスタ 「キャプション by Hyatt なんば大阪」開業 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 賃貸レジデンス 「（仮称）新宿区高田馬場三丁目計画」開発着手 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 複合型賃貸レジデンス 「（仮称）北新宿複合賃貸レジデンス計画」開発着手 複合型賃貸レジデンス 「（仮称）横浜市中区弁天通 複合賃貸レジデンス計画」開発着手 	<ul style="list-style-type: none"> サンケイビル 物流施設 「（仮称）SANKEILOGI仙台東」開発着手 賃貸レジデンス 「（仮称）北区赤羽二丁目 賃貸レジデンス計画」開発着手

事業・業績概要

フジテレビは放送収入増収、「配信関連ビジネス」引き続き成長
グランビスタは2年連続で、連結子会社化後の上期最高の売上高・営業利益を更新

▶ 前期比：増収増益
計画比：ほぼ見込み通り

メディア・コンテンツ事業 減収増益

「配信」ビジネス好調

フジテレビのタイム、スポットのいずれの放送収入も増収
配信広告、デジタル、配信向け販売も好調
フジテレビ等のイベント収入の反動減、DINOSの減収等により
セグメント全体では減収だが増益

■フジテレビ：減収増益（黒字化）

□放送・メディア：増収粗利益増益

- ・タイム：五輪等により増収
- ・スポット：6月以降は前年実績超えが続き増収
- ・配信広告：前期比+74.7%と大幅増収、AVOD3冠
- ・番組費：パリ五輪の計上あり

□コンテンツ・ビジネス：減収粗利益減益

- ・イベント：「アレグリア」の反動減等で減収
- ・デジタル：増収、FOD有料会員数が150万人超え
- ・アニメ：配信権販売や海外展開好調で増収

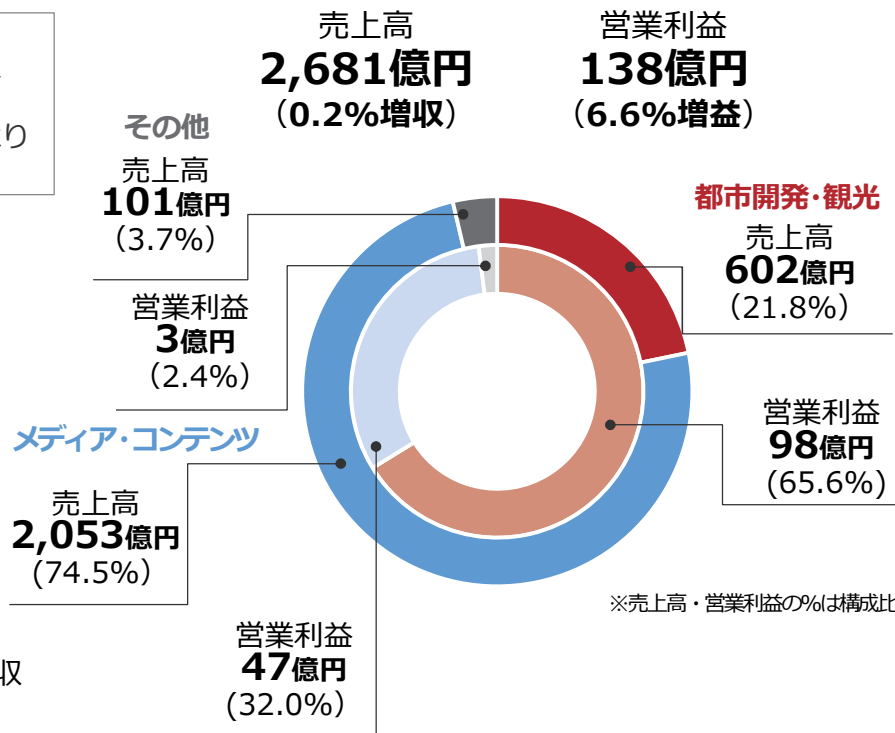
■各社：

- ポニーキャニオン：大型アニメやライブ事業関連少なく減収
- DINOS：商品構成と販促費用の見直しで赤字抑制

資本収益性の 向上策

- 自己株式取得：119億円実施（10月末時点）
今期150億円実施予定
- 設備投資：300億円実施

連結 増収増益



都市開発・観光事業 増収増益

「販売・売却」堅調「ホテル」好調

サンケイビルは売却反動減等で増収減益、
グランビスタはインバウンド需要等によりホテル事業好調
「神戸須磨シーワールド」は飲食・物販好調で増収増益
セグメント全体では増収増益

■サンケイビル：増収減益

- 賃貸：レジデンス、オフィス、ホテル等の賃料・稼働率ともに引き続き好調
一時費用の発生等で減益

- 販売・売却：引き続き需要あり、利益面は反動減あり

■グランビスタ ホテル&リゾート：増収増益

- ・2年連続、連結子会社化後の上期最高の売上高・営業利益を更新
- ・ホテル事業がインバウンド等の観光需要を取り込み稼働率、客単価ともに上昇傾向
- ・「神戸須磨シーワールド」飲食・物販等も好調
10月12日（土）に来館者数100万人を達成

通期
見通し

変更なし
連結全体では概ね予想通り推移
通期の連結業績予想は変更なし

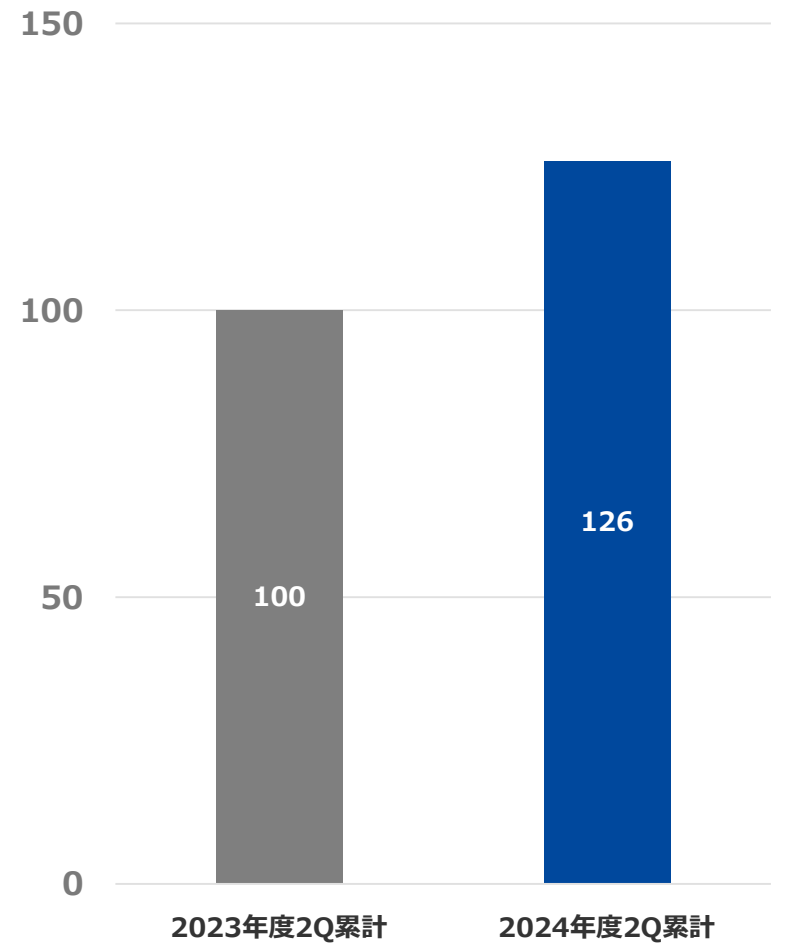
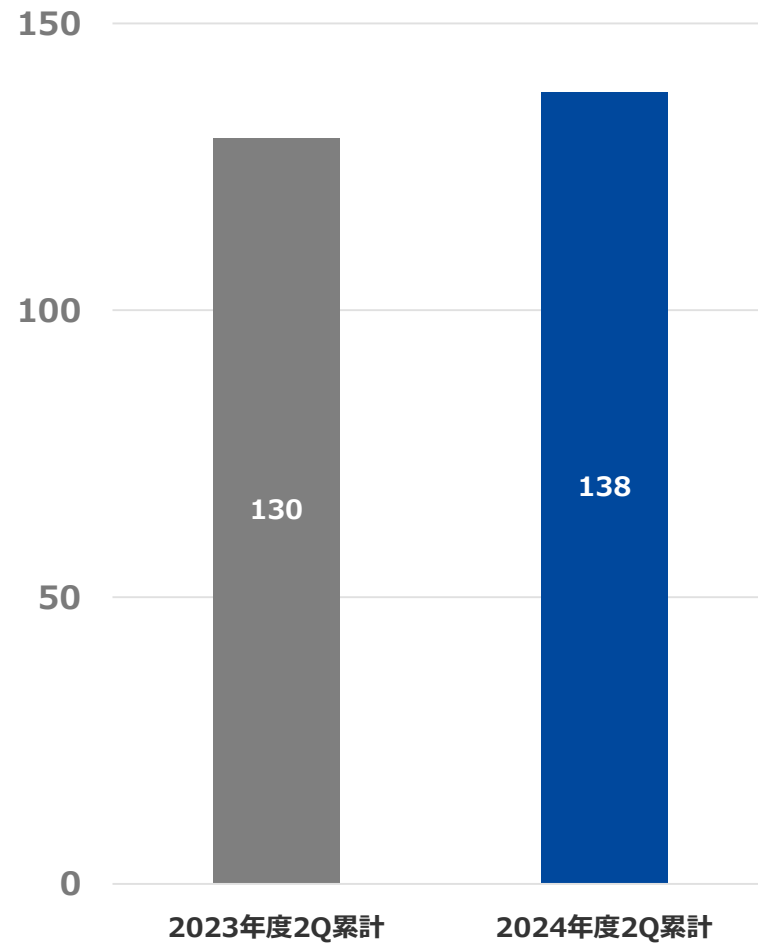
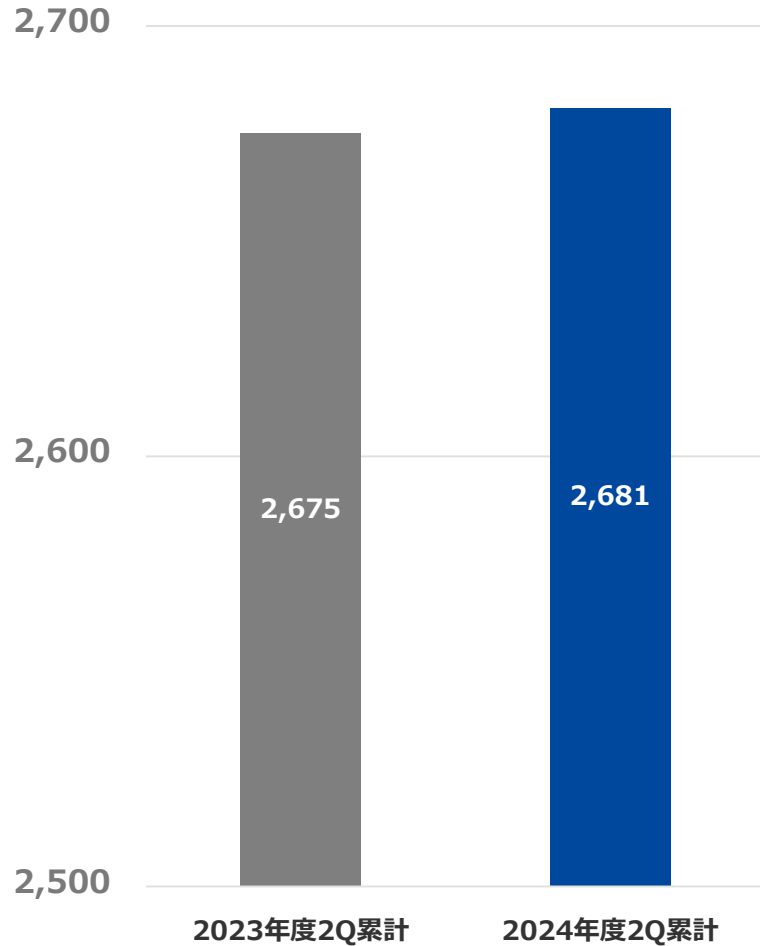
(単位：億円)

連結売上高：0.2%増収

連結営業利益：6.6%増益

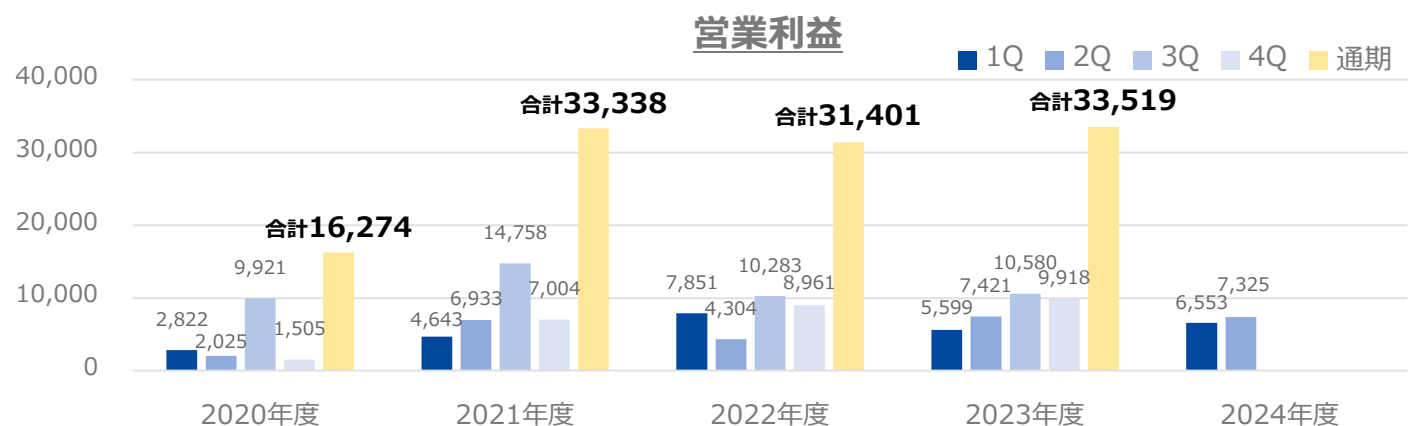
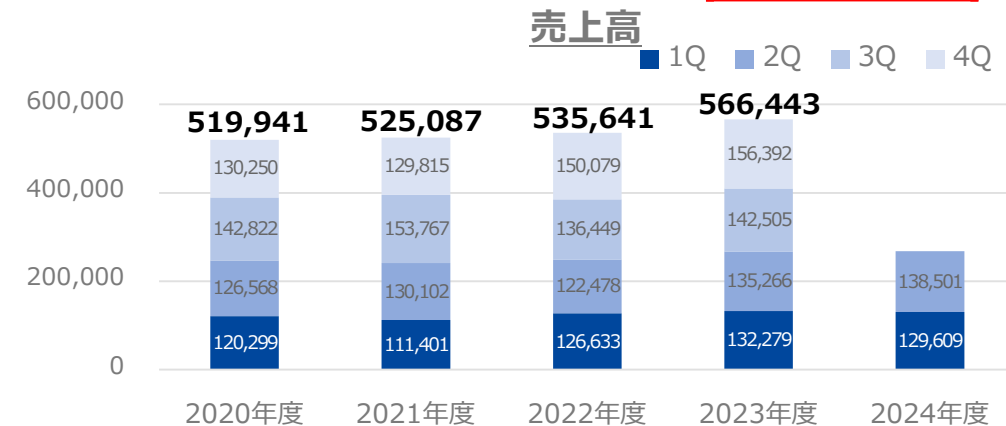
親会社株主に帰属する

中間純利益：25.4%増益



(単位：百万円)

	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	対前期増減		通期 業績予想 (24/5/9)	対通期予想 達成率	
売上高	267,545	268,111	565	0.2%	598,300	▲330,188	44.8%
営業利益	13,021	13,879	857	6.6%	35,300	▲21,420	39.3%
経常利益	15,199	17,612	2,413	15.9%	40,400	▲22,787	43.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益	10,053	12,605	2,552	25.4%	29,000	▲16,394	43.5%



セグメント別 売上高及び営業利益

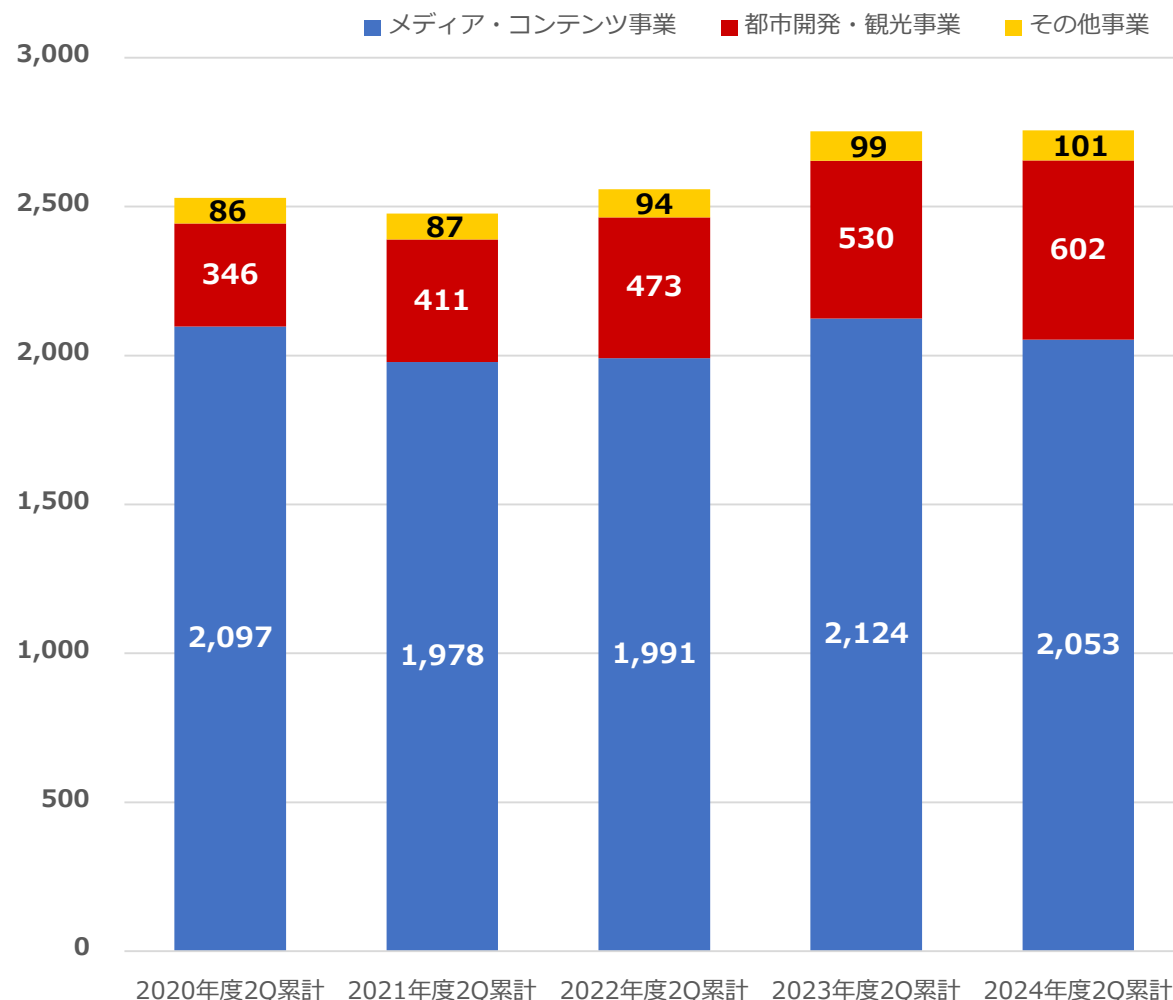
1. 2025年3月期2Q
決算概要

(単位：百万円)

	事業セグメント				計	調整額	連結損益 計算上 書額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光事業	その他 事業				
売上高	2024年度2Q累計	205,359	60,221	10,133	275,714	▲7,603	268,111
	2023年度2Q累計	212,475	53,060	9,924	275,460	▲7,915	267,545
	増減	▲7,115	7,160	208	254	311	565
	増減 (%)	▲3.3%	13.5%	2.1%	0.1%	—	0.2%
営業利益	2024年度2Q累計	4,786	9,813	361	14,961	▲1,082	13,879
	2023年度2Q累計	4,156	9,749	490	14,396	▲1,375	13,021
	増減	629	64	▲128	565	292	857
	増減 (%)	15.1%	0.7%	▲26.2%	3.9%	—	6.6%
営業 利益率	2024年度2Q累計	2.3%	16.3%	3.6%	5.4%	—	5.2%
	2023年度2Q累計	2.0%	18.4%	4.9%	5.2%	—	4.9%

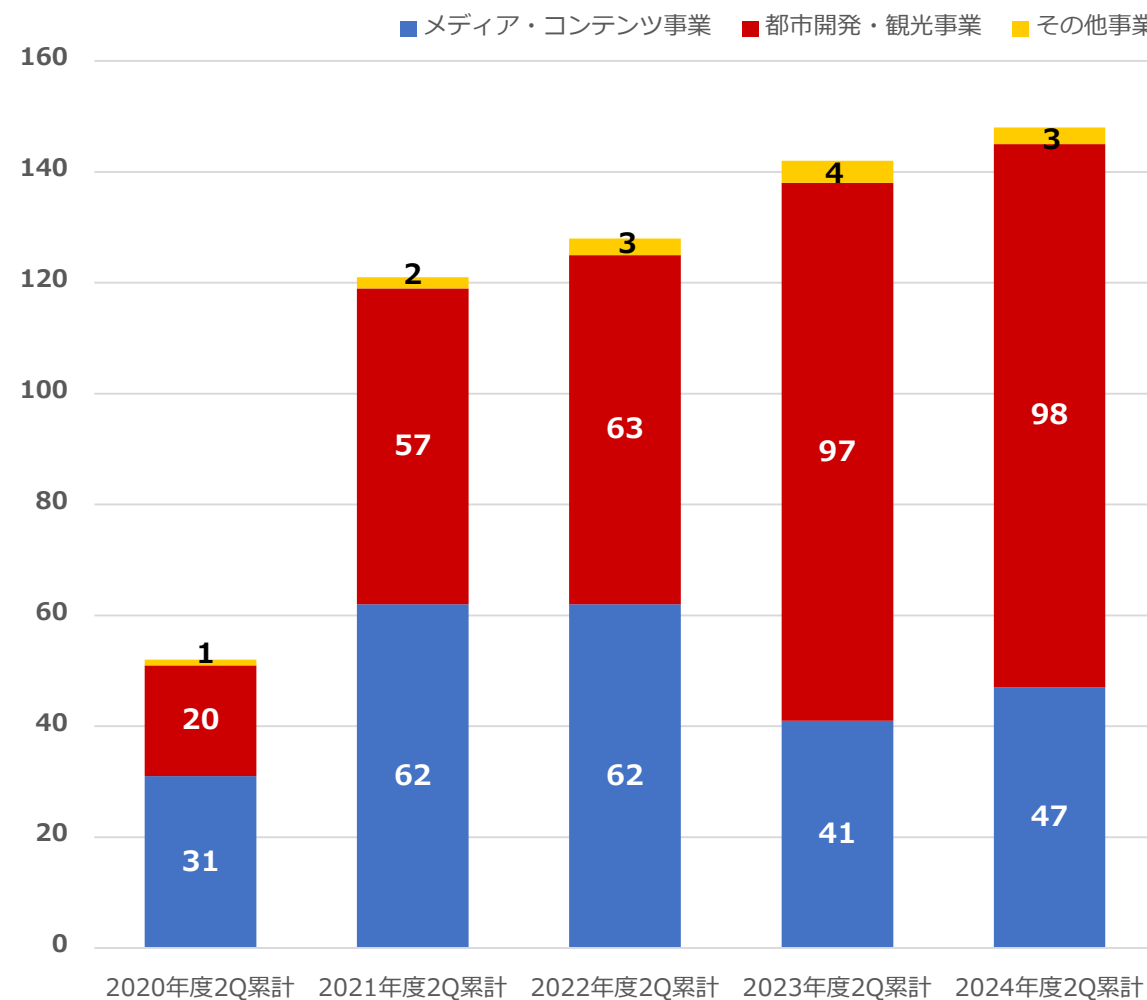
セグメント別 売上高・営業利益推移

売上高

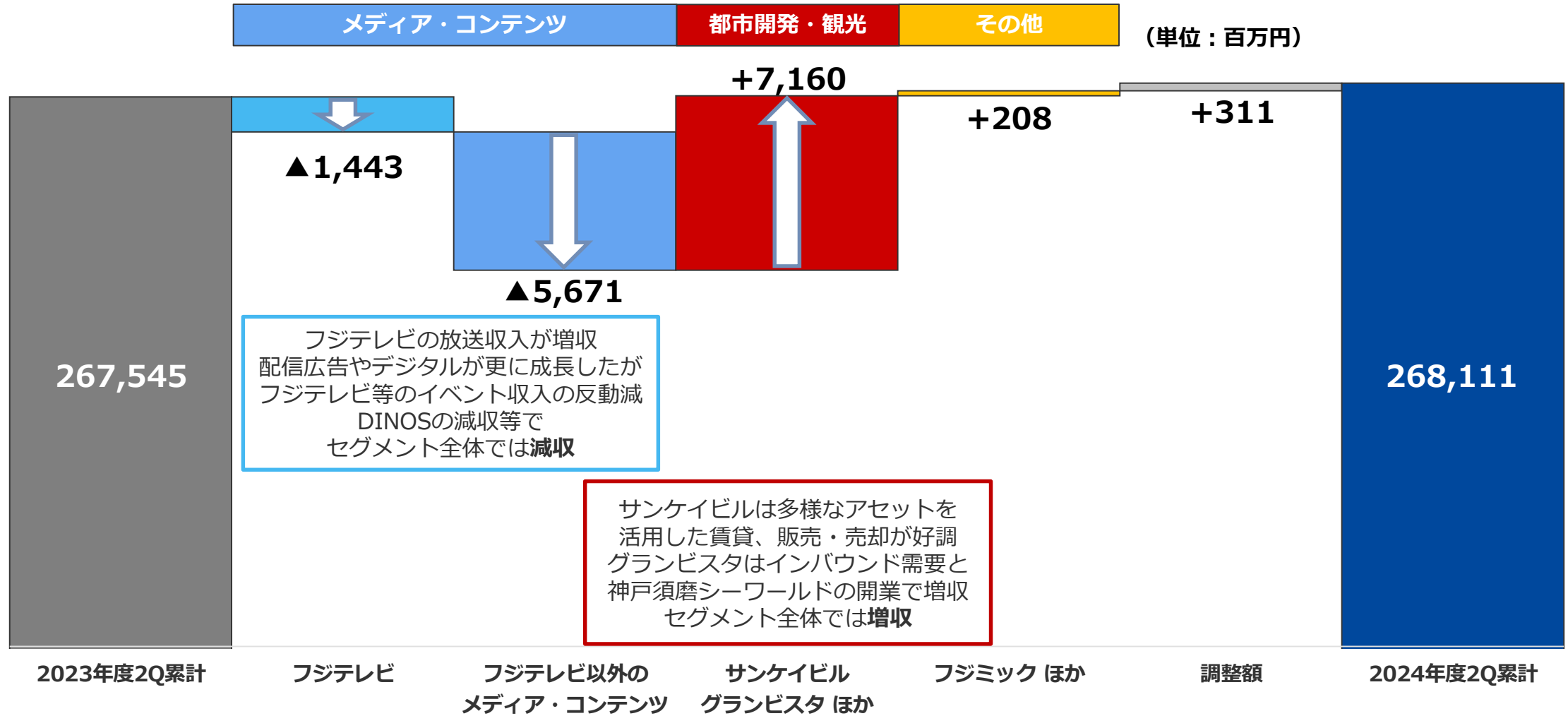


営業利益

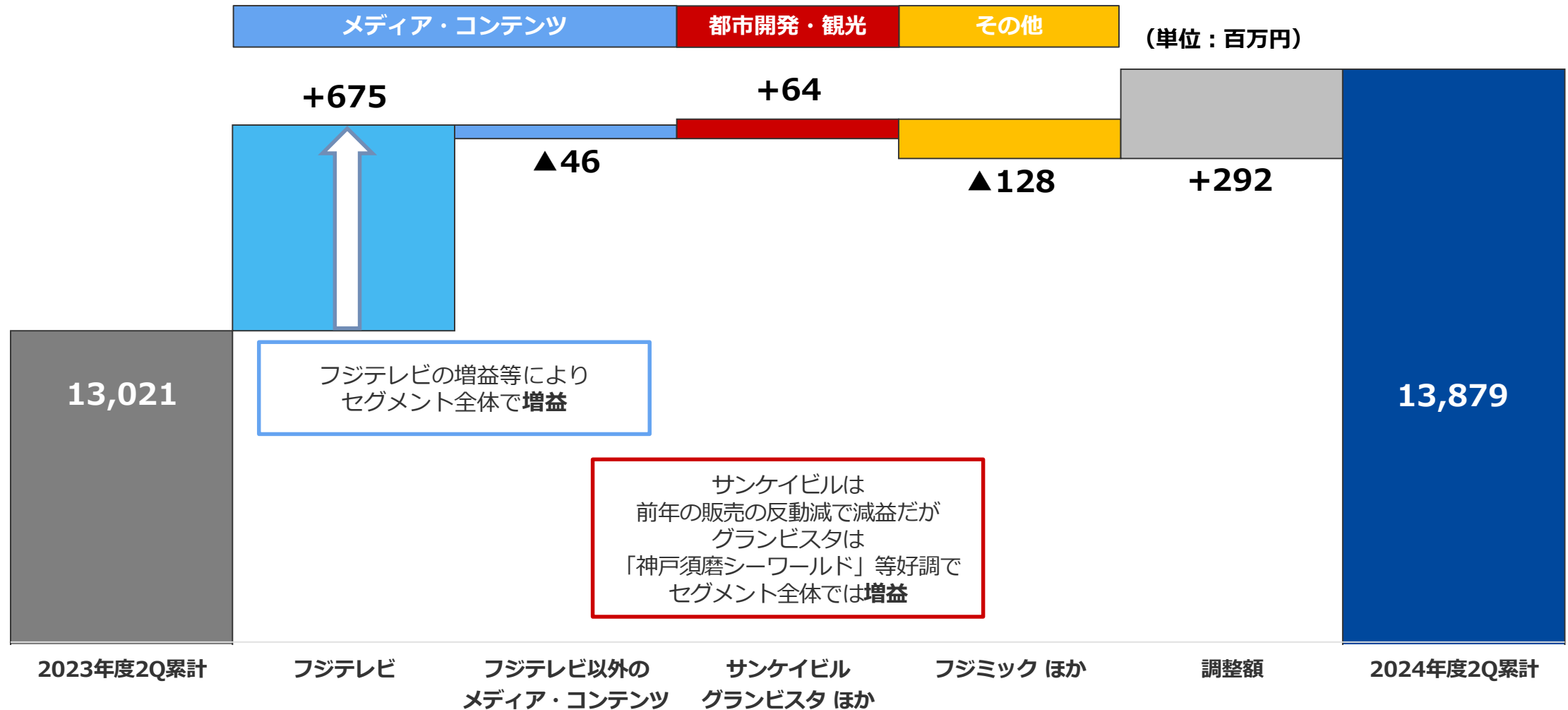
(単位：億円)



セグメント別 売上高と増減要因



セグメント別 営業利益と増減要因



連結 営業外収益・費用の主な内容

営業外収益は、持分法による投資利益により増益

(単位：百万円)

	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	対前期増減	
営業外収益				
受取配当金	2,296	2,722	426	18.6%
持分法による投資利益	—	1,025	1,025	—
その他	1,300	1,567	267	20.6%
営業外収益合計	3,596	5,315	1,719	47.8%
営業外費用				
支払利息	826	1,211	384	46.5%
持分法による投資損失	61	—	▲61	▲100.0%
その他	530	371	▲159	▲30.0%
営業外費用合計	1,418	1,582	163	11.6%

連結 特別利益・損失の主な内容

固定資産除却損は、フジテレビ本社ビルの大規模修繕に伴うもの

(単位：百万円)

	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	対前期増減	
特 別 利 益				
関係会社株式交換益	—	235	235	—
そ の 他	565	18	▲546	▲96.7%
特 別 利 益 合 計	565	254	▲311	▲55.0%
特 別 損 失				
固定資産除却損	104	331	226	216.3%
減 損 損 失	261	—	▲261	▲100.0%
投資有価証券評価損	12	121	109	911.7%
そ の 他	19	26	7	37.6%
特 別 損 失 合 計	397	479	82	20.7%

連結 貸借対照表

1. 2025年3月期2Q
決算概要

(単位：百万円)

	2023年度4Q末	2024年度2Q末	前期末比増減		2023年度4Q末	2024年度2Q末	前期末比増減
流動資産	404,938	410,450	5,511	流動負債	152,437	171,170	18,732
現金及び預金	76,077	88,637	12,560	支払手形及び買掛金	39,292	36,500	▲2,792
受取手形及び売掛金等	95,858	91,491	▲4,366	短期借入金	27,677	58,886	31,209
有価証券	121,461	109,349	▲12,112	その他	85,467	75,783	▲9,683
棚卸資産	73,553	79,292	5,739	固定負債	426,766	427,384	617
その他	37,987	41,679	3,691	社債	20,000	20,000	—
固定資産	1,043,894	1,065,214	21,319	長期借入金	273,676	271,675	▲2,000
有形固定資産	554,451	567,473	13,021	その他	133,089	135,708	2,618
建物及び構築物	174,618	183,245	8,626	株主資本	722,765	719,809	▲2,955
土地	336,381	346,207	9,826	資本金等	746,878	754,247	7,368
その他	43,452	38,020	▲5,431	自己株式	▲24,113	▲34,437	▲10,324
無形固定資産	26,165	25,465	▲699	その他の包括利益累計額	135,154	145,740	10,585
投資その他の資産	463,277	472,275	8,997	非支配株主持分	11,708	11,559	▲149
資産合計	1,448,833	1,475,664	26,831	負債・純資産合計	1,448,833	1,475,664	26,831

※参考：
都市開発関連資産
(決算期末時点)

		2022年度4Q末	2023年度4Q末	前期末比増減
棚卸資産	販売用不動産	27,743	37,447	9,704
	仕掛販売用不動産	21,533	11,349	▲10,183
	開発不動産	6,254	6,150	▲103
有形固定資産	賃貸等不動産	272,944	336,161	63,216

ビーエスフジ

増収減益

タイムのレギュラー・単発、イベントは前年超えだが、スポットの伸び悩み等で増収減益



ニッポン放送

減収増益



聴取率調査は上期通じて首位
開局70周年の特別企画等で
タイムや番組制作は好調ながら
イベントの反動減で減収
原価抑制等により増益

フジクリエイティブコーポレーション

減収増益



バラエティのゴールデン特番や
映画の制作受注があったが
前年の連続ドラマ3作品の規模に
及ばず減収
費用コントロールで増益

ポニーキャニオン

減収減益



アルバムの新作のリリースで
音楽や配信は引き続き好調
だが、大型アニメやライブ
事業関連少なく減収
広告宣伝費・海外関連費用
等が増え減益

フジパシフィックミュージック

増収減益

所属アーティストによるツアー関連等の
マネージメント収入が好調
番組や配信等の著作権料収入も堅調で増収
販管費の投下等で減益

DINOS CORPORATION

減収営業損失縮小

カタログ発行数や販促の効率化で損失縮小



新商品開発が功を奏した
テレビ通販は堅調
リビング系等は苦戦
販促施策を効率化

クオラス

減収減益

イベント関連ビジネスが前期に及ばず
テレビやWeb等の広告も低調

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	増減
フジテレビジョン	117,051	115,608	▲1,443 (▲1.2%)	▲173	502	675 (-)	▲0.1%	0.4%	0.5%
ビーエスフジ	8,121	8,152	30 (0.4%)	1,647	1,518	▲128 (▲7.8%)	20.3%	18.6%	▲1.7%
ニッポン放送	7,408	7,277	▲130 (▲1.8%)	377	485	107 (28.3%)	5.1%	6.7%	1.6%
フジクリエイティブ コーポレーション	7,617	7,122	▲495 (▲6.5%)	462	538	76 (16.6%)	6.1%	7.6%	1.5%
共同テレビジョン	7,128	6,297	▲830 (▲11.7%)	315	45	▲269 (▲85.5%)	4.4%	0.7%	▲3.7%

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	増減
ポニーキャニオン	18,961	18,071	▲890 (▲4.7%)	268	107	▲160 (▲59.9%)	1.4%	0.6%	▲0.8%
フジパシフィック ミュージック	5,804	5,886	82 (1.4%)	665	545	▲119 (▲18.0%)	11.5%	9.3%	▲2.2%
D I N O S CORPORATION	24,909	22,692	▲2,217 (▲8.9%)	▲946	▲595	351 (-)	▲3.8%	▲2.6%	1.2%
クオラス※	17,680	14,833	▲2,847 (▲16.1%)	922	488	▲434 (▲47.1%)	5.2%	3.3%	▲1.9%
その他及び セグメント内修正等	▲2,209	▲582	-	618	1,149	-	-	-	-

※クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期30,088百万円、当期26,559百万円。

フジテレビ 決算のポイント

ポイント

減収増益 : コンテンツ・ビジネスのイベントの反動減が大きく減収ながら、放送・メディアの増収により増益
放送・メディア : 増収粗利益増益 : 放送収入はタイム・スポットいずれも増収、配信広告収入は引き続き成長
コンテンツ・ビジネス : 減収粗利益減益 : イベントの反動減等で減収減益

放送・メディア

放送収入 : 増収

- **タイム**
ネットのレギュラー減収、単発は五輪等で増収
- **スポット**
6月以降前年実績超えが続き、増収
「化粧品・トイレタリー」「交通・レジャー・観光」
「自動車・関連品」等が好調

その他放送・メディア収入 : 増収

- **配信広告**
 - **前期比+74.7%と引き続き大幅増収** : 「化粧品・トイレタリー」「飲料」「情報・通信」等多様な業種や規模の広告主からのニーズあり好調
予約型・運用型のいずれも成長が続く
 - **AVOD3冠** : 2024年度上期に再生数・視聴時間・ユニークブラウザ数の全てで1位
新作・旧作ドラマに加え、レギュラー・単発バラエティも利用の増に貢献

コンテンツ・ビジネス

映画 : 減収

- **劇場公開**
「逃走中 THE MOVIE」
「赤羽骨子のボディガード」
「スオミの話をしよう」等公開
昨年の反動減あり
- **二次利用**
前年ヒット作をはじめ
アーカイブ作品の
配信権販売が
引き続き好調

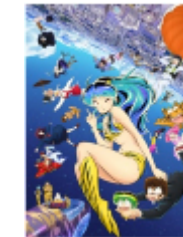


デジタル : 増収

- **FOD**
有料会員150万人を突破
TVer無料配信からFODへの入会、
地上波との連動、アーカイブ作品を
活用したキャンペーンも奏功



アニメ開発 : 増収



- **アニメ投資・海外販売**
「うる星やつら」等出資作品
の配信権販売や海外展開好調
- **配分金・MD**
人気アニメ関連等好調

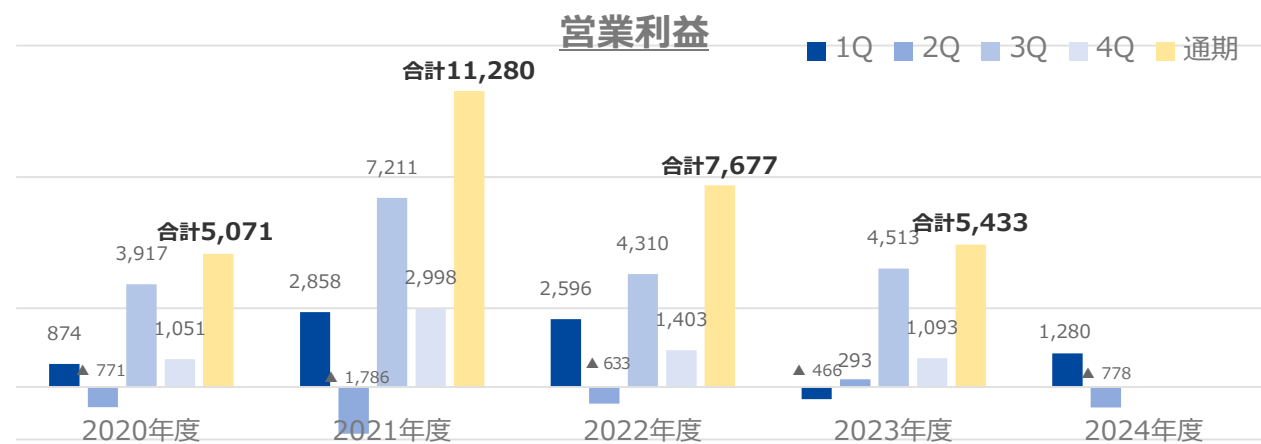
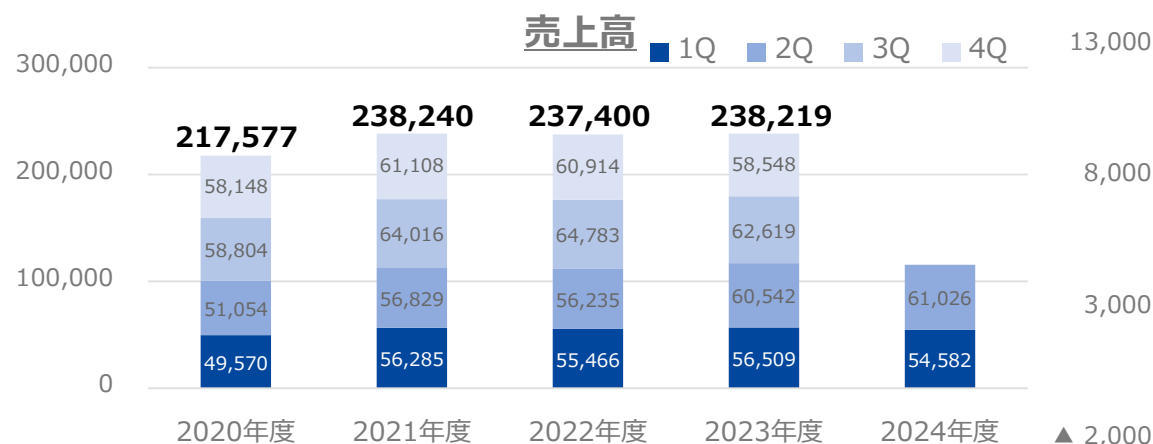


イベント : 減収

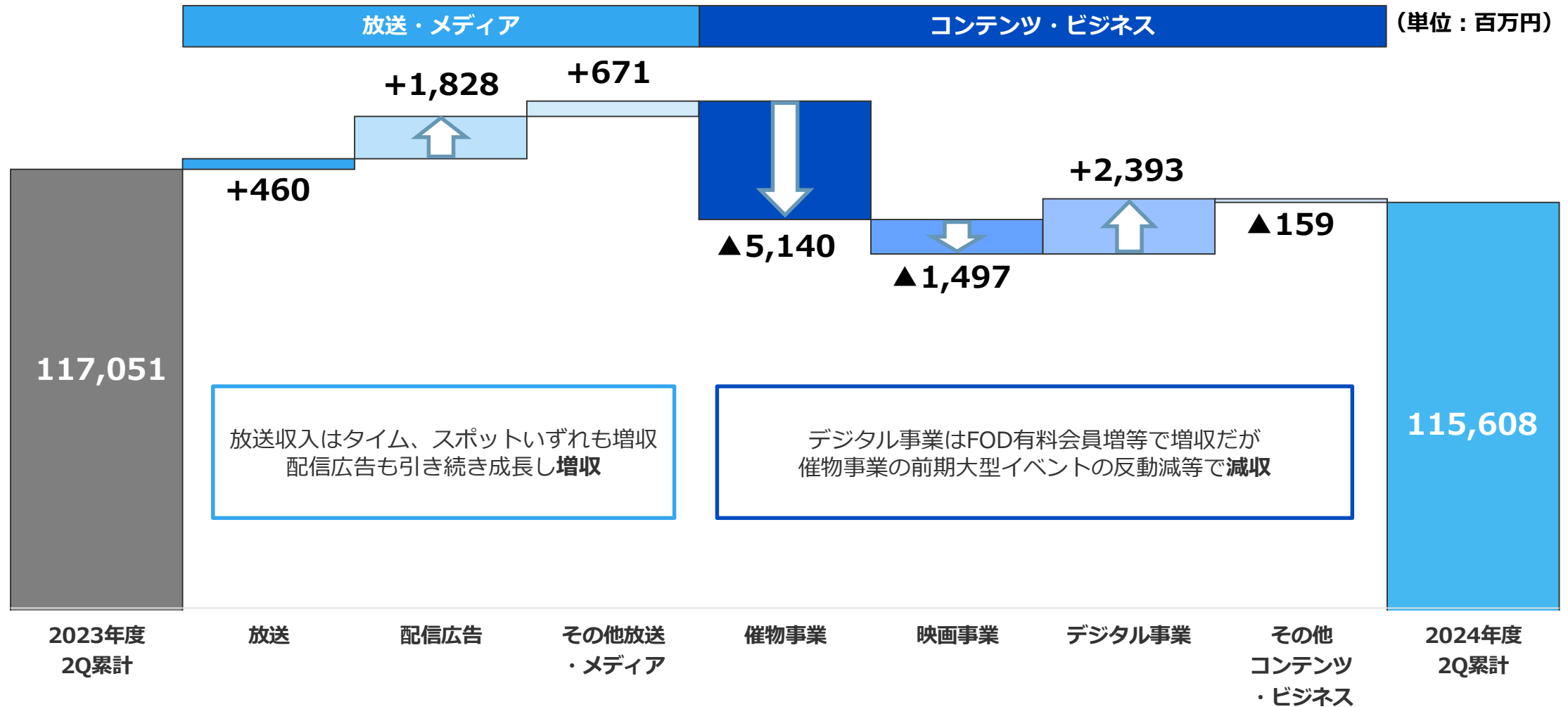
- 「アレグリア」の反動減あり
特別展「昆虫MANIAC」等
が好評

(単位：百万円)

	2023年度 2 Q 累計	2024年度 2 Q 累計	対前期増減	
売上高	117,051	115,608	▲1,443	▲1.2%
営業利益	▲173	502	675	—
経常利益	▲81	795	877	—
中間純利益	▲221	427	648	—



フジテレビ 売上高と増減要因



内訳別の収入及び粗利益

(単位：百万円)

	内訳			計
		放送・メディア	コンテンツ・ビジネス	
収入	2024年度2Q累計	90,168	25,439	115,608
	2023年度2Q累計	87,208	29,843	117,051
	増減	2,959	▲4,403	▲1,443
	増減 (%)	3.4%	▲14.8%	▲1.2%
粗利益	2024年度2Q累計	21,397	6,981	28,378
	2023年度2Q累計	19,859	7,855	27,714
	増減	1,537	▲873	664
	増減 (%)	7.7%	▲11.1%	2.4%
粗利益率	2024年度2Q累計	23.7%	27.4%	24.5%
	2023年度2Q累計	22.8%	26.3%	23.7%

販管費及び営業外損益概要

(単位：百万円)

	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	27,887	27,876	▲11	▲0.0%
販売費	19,807	20,097	289	1.5%
一般管理費	8,080	7,779	▲301	▲3.7%
営業費用合計	117,224	115,105	▲2,119	▲1.8%
営業利益	▲173	502	675	—
営業外収益	304	424	120	39.6%
営業外費用	212	131	▲81	▲38.4%
経常利益	▲81	795	877	—

放送・メディア 収入と原価

(単位：百万円)

	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	対前期増減	
放送・メディア収入	87,208	90,168	2,959	3.4%
放送収入	70,741	71,201	460	0.7%
ネットタイム	31,737	31,831	94	0.3%
ローカルタイム	4,806	4,986	180	3.8%
スポット	34,197	34,383	185	0.5%
その他の放送・メディア収入	16,467	18,966	2,499	15.2%
配信広告	2,446	4,275	1,828	74.7%
番組販売	7,484	7,370	▲114	▲1.5%
CS放送・その他	6,535	7,321	785	12.0%
放送・メディア原価	67,349	68,770	1,421	2.1%
放送・メディア粗利益	19,859	21,397	1,537	7.7%

スポット収入 業種別動向

(2024年4月～2024年9月) ※管理ベース

「化粧品・トイレタリー」「交通・レジャー・観光」「自動車・関連品」等が好調

業種	2023年度2Q シェア	2024年度2Q シェア	対前期増減
情報・通信・放送	13.1%	13.7%	4.9%
化粧品・トイレタリー	12.2%	13.1%	7.3%
外食・各種サービス	10.3%	8.2%	▲20.1%
食品	7.7%	7.8%	1.8%
交通・レジャー・観光	6.4%	7.2%	13.1%
非アルコール飲料	8.3%	6.9%	▲16.8%
金融・保険	5.9%	5.5%	▲6.9%
アルコール飲料	5.1%	5.4%	7.4%
自動車・関連品	3.7%	4.8%	31.1%

業種	2023年度2Q シェア	2024年度2Q シェア	対前期増減
医薬品・医療用品	4.5%	4.5%	▲0.1%
事務・精密・光学機器	3.8%	4.2%	9.0%
出版・エンタテインメント	4.3%	4.0%	▲6.0%
流通・小売業	3.6%	3.0%	▲16.1%
不動産・住宅設備	3.3%	3.0%	▲7.2%
衣料・身回品・雑貨	2.4%	2.6%	7.4%
家電・AV機器	1.7%	1.7%	▲0.0%
エネルギー・機械	0.3%	1.4%	465.7%
電話サービス	1.1%	1.4%	34.1%
その他	2.3%	1.6%	▲31.0%

第2四半期にパリ五輪の費用を計上

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度	対前期増減	
第1四半期	17,000	16,103	▲897	▲5.3%
第2四半期	17,320	18,961	1,640	9.5%
上期	34,321	35,064	743	2.2%
第3四半期	17,151			
第4四半期	16,785			
下期	33,936			
通期	68,258			

※自社制作番組及び購入番組の直接費

コンテンツ・ビジネス 収入と原価

(単位：百万円)

	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	対前期増減	
コンテンツ・ビジネス収入	29,843	25,439	▲4,403	▲14.8%
催物事業収入	9,150	4,009	▲5,140	▲56.2%
映画事業収入	5,056	3,558	▲1,497	▲29.6%
デジタル事業収入	6,756	9,150	2,393	35.4%
MD事業収入	3,531	3,294	▲236	▲6.7%
アニメ開発事業収入	1,819	2,541	721	39.6%
ビデオ事業収入	1,107	467	▲639	▲57.7%
その他の収入	2,422	2,417	▲4	▲0.2%
コンテンツ・ビジネス原価	21,987	18,458	▲3,529	▲16.1%
コンテンツ・ビジネス粗利益	7,855	6,981	▲873	▲11.1%

配信関連 配信広告とデジタル事業

配信関連 ビジネス

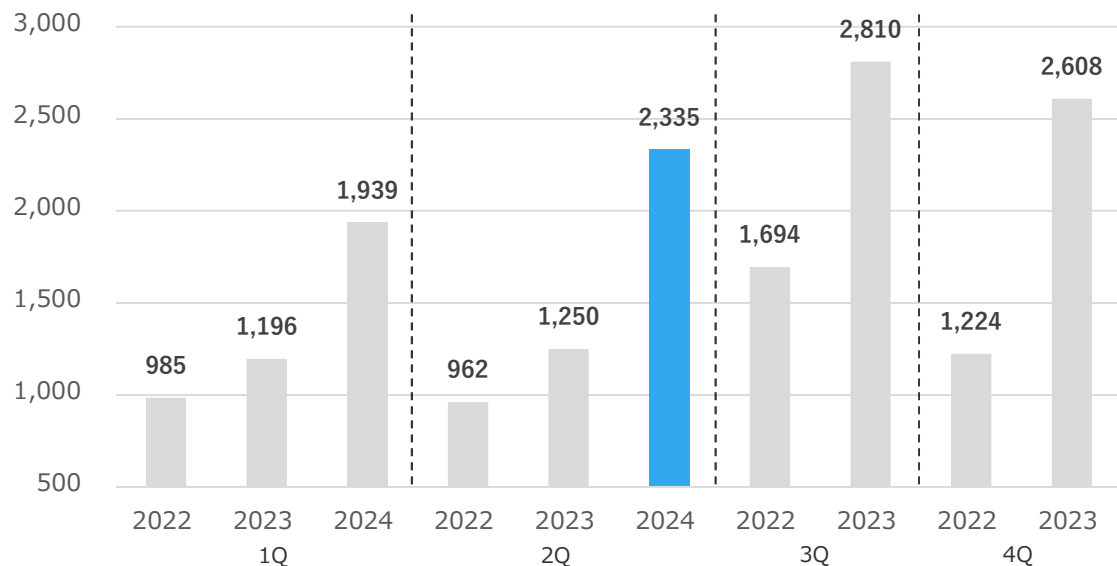
- ① **配信広告** : 「TVer」等のAVOD
- ② **デジタル事業** : 「FOD」のSVOD、「FNNプライムオンライン」「めざましmedia」の広告収入
テレビ番組やオリジナルコンテンツの外部プラットフォーム等向け販売
- ③ **その他** : 「映画事業」や「アニメ開発事業」等によるコンテンツ販売

実績

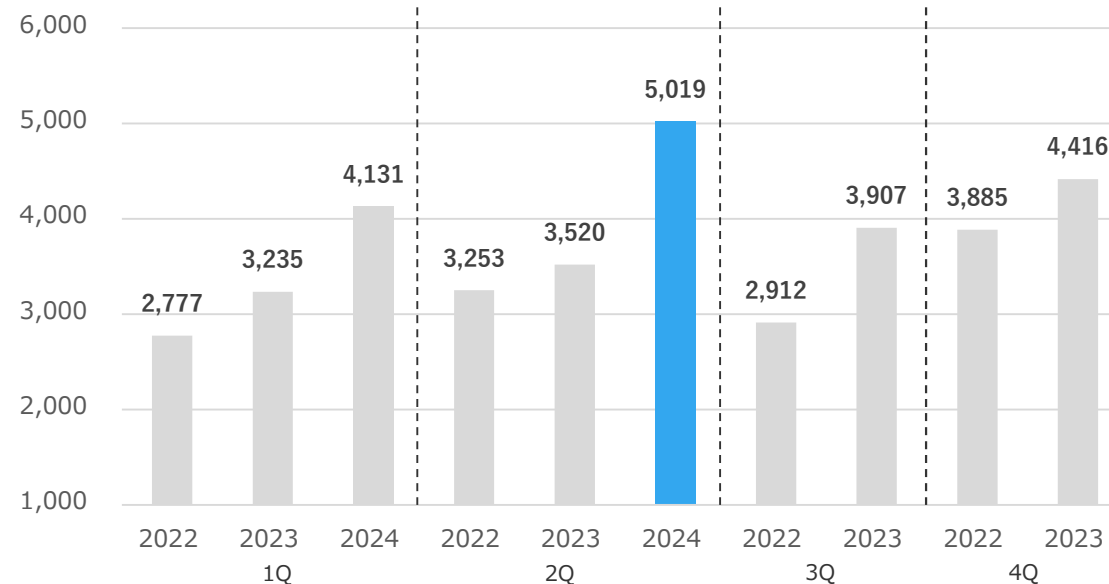
- ①・② : 2Q累計で合計134億円（前期比+45.9%）
- ① : 上期は再生数・視聴時間・ユニークブラウザ数で1位のAVOD3冠
- ③ : 新作に加えて豊富なアーカイブ作品を活用

（単位：百万円）

配信広告売上高



デジタル事業売上高



サンケイビル（都市開発） 決算のポイント

ポイント

- 増収減益 : 賃貸、販売・売却共に順調ながら、前期の物件売却の反動あり
 賃貸 : 賃貸収入が堅調で増収、一時費用の発生等で減益
 販売・売却 : オフィスや物流施設等の売却は堅調、前期の売却の反動で減益

賃貸：増収減益

住宅等



ルフォンエチュード国分寺

- ルフォンプログレ・ルフォンエチュード
 「ルフォンプログレ堺筋本町タワーレジデンス」
 (169戸：2024年1月竣工)
 「ルフォンプログレ品川戸越」
 (58戸+店舗1区画：2024年3月竣工)
 「ルフォンエチュード国分寺」
 (95室：2024年1月竣工)

オフィス等

ダブルツリー
by ヒルトン京都東山

- オフィス
 前期4Qに取得の「ブリーゼタワー」等が寄与
- ホテル
 「GRIDSプレミアムホテル小樽」
 「キャプション by Hyatt なんば 大阪」
 (2024年6月開業)
 「ダブルツリーby ヒルトン京都東山」
 (2023年8月開業)
 等が国内の旺盛な観光需要やインバウンドで好調

販売・売却：増収減益

住宅等



ルフォン上野松が谷

- 新築分譲マンション
 「ルフォン上野松が谷」(34戸：契約完売)
 「ルフォン船堀 ザ・タワーレジデンス」
 (133戸：先着順販売中、
 2024年11月中旬第3期販売予定)

オフィス等



- オフィス
 「S-GATE FIT 天神南」
 シリーズ初の九州進出物件
 地上14階建：2023年7月竣工
 敷地面積893 m² ・延床面積4,787.66 m²

ポイント

増収増益：昨年度に続き、2015年4月に連結子会社化後の上期最高の売上高・営業利益を更新
ホテル事業は、欧米や東南アジアのインバウンド需要等により増収
「神戸須磨シーワールド」は6月1日に開業、飲食、物販等も好調

グランビスタ ホテル&リゾート：増収増益

ホテル



ホテルインターゲート大阪 梅田

■引き続き好調

- インバウンドと国内観光客による需要増で稼働率、平均単価ともに前期を上回る水準
- 「札幌グランドホテル」「札幌パークホテル」国内需要を中心に稼働率、単価ともに好調に推移
- 「インターゲートホテルズ」前期以上のインバウンド需要で単価・稼働率ともに上昇

■神戸須磨シーワールド好調スタート

- 「神戸須磨シーワールド」開業から約4か月の10月12日に、来館者数100万人を達成
来場者の滞在時間が長く、飲食、物販も好調に推移
併設する「神戸須磨シーワールドホテル」が高稼働



神戸須磨シーワールド

レジャー等 海洋

その他

■サンケイビルマネジメント

新規物件の受注や稼働によるビルマネジメント関連収入の増加、建築内装工事業務工事収入の増加等で増収

■サンケイビルウェルケア

入居者の増加等で増収増益



都市開発・観光事業 会社別概要

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比
サンケイビル	27,478	29,776	2,297 (8.4%)	6,496	5,699	▲796 (▲12.3%)
グランビスタ ホテル&リゾート	15,978	22,421	6,442 (40.3%)	2,528	3,712	1,183 (46.8%)
その他及び セグメント内修正等	9,603	8,023	—	724	401	—

営業利益率		
2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比
23.6%	19.1%	▲4.5%
15.8%	16.6%	0.8%
—	—	—

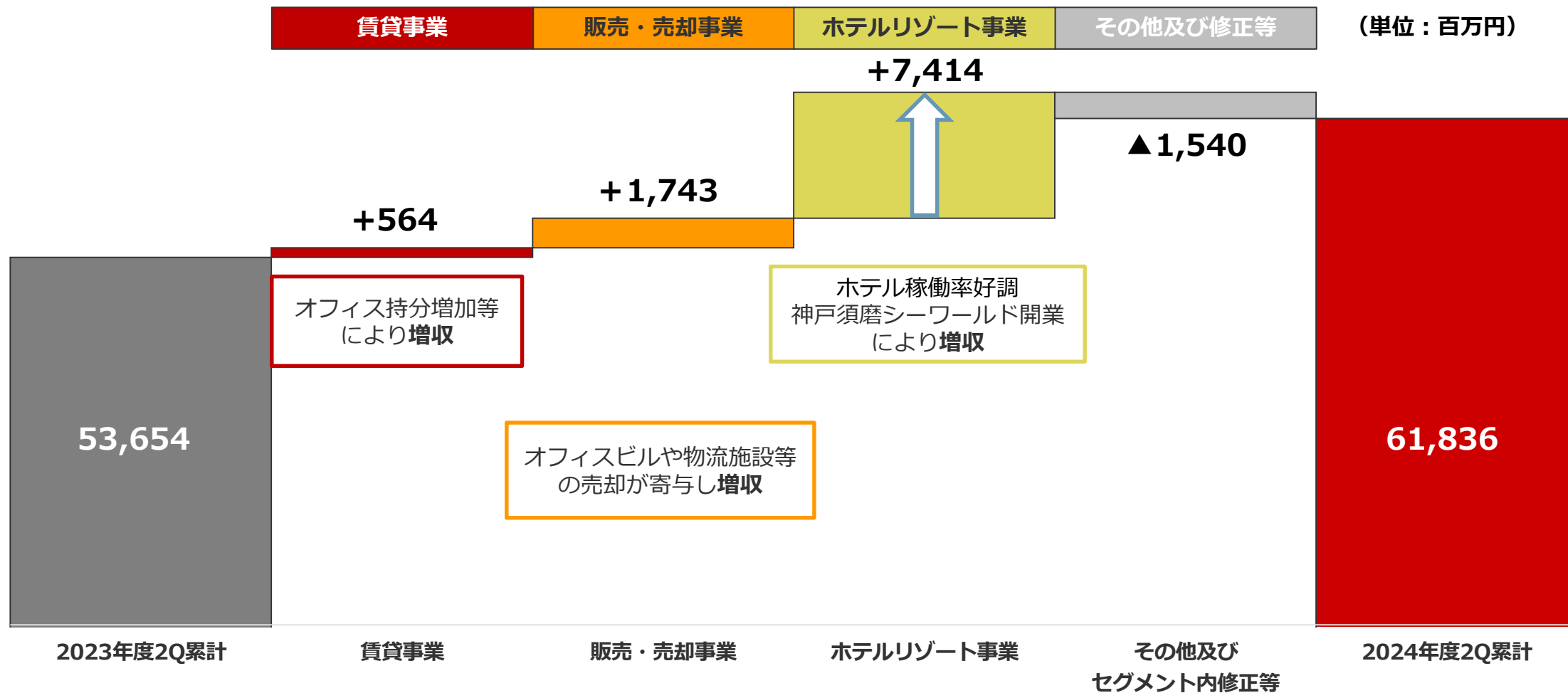
■参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益		
	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比
賃貸事業	11,911	12,476	564	2,870	2,831	▲39
販売・売却事業	15,578	17,321	1,743	4,333	3,929	▲404
ホテルリゾート事業	17,051	24,466	7,414	2,494	3,904	1,409
その他及び セグメント内修正等	9,112	7,571	—	▲299	▲760	—

営業利益率		
2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	前期比
24.1%	22.7%	▲1.4%
27.8%	22.7%	▲5.1%
14.6%	16.0%	1.3%
—	—	—

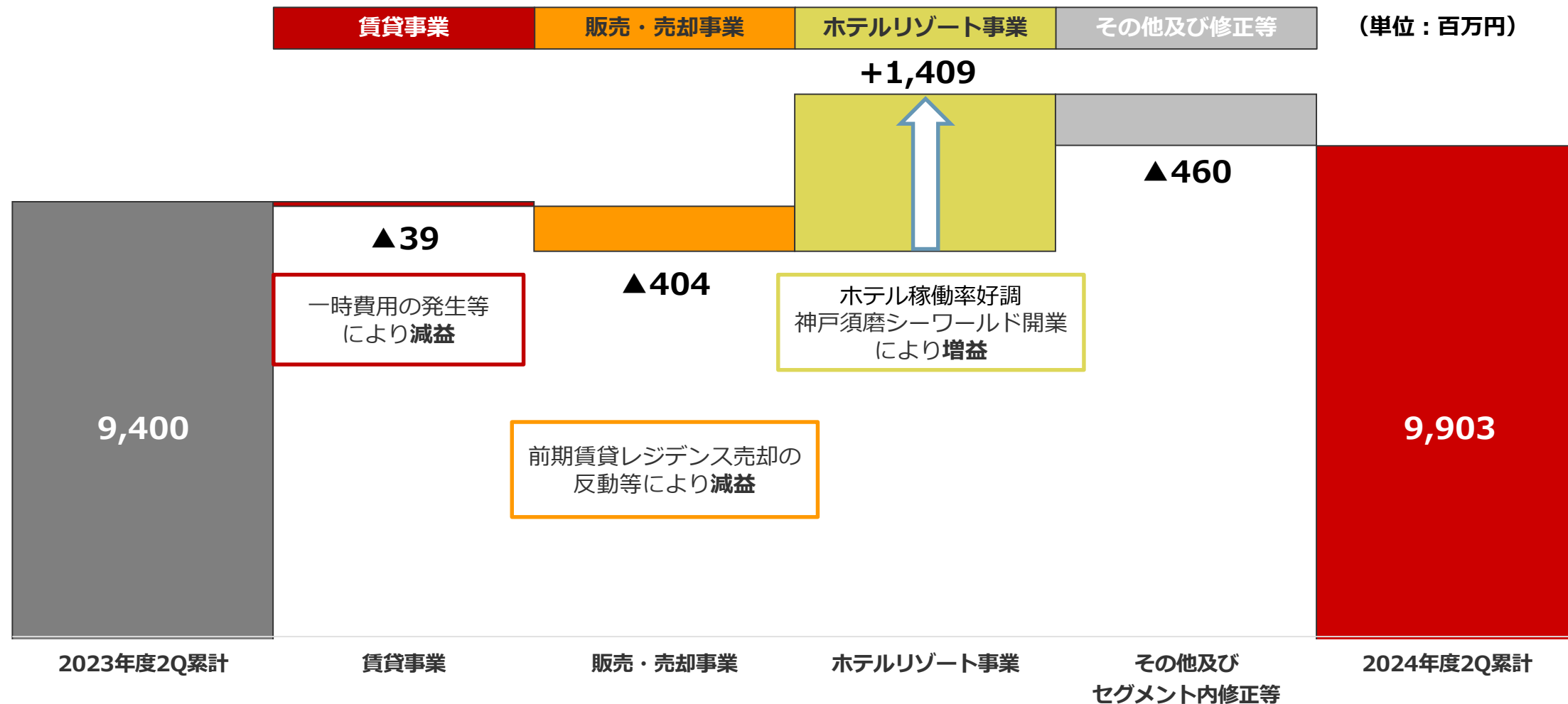
サンケイビルグループ[○]連結事業別 売上高と増減要因

(FMHとは連結対象が異なります)



サンケイビルグループ連結事業別 営業利益と増減要因

(FMHとは連結対象が異なります)



目次

- 1 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要
- 2 **2025年3月期 通期業績予想とトピックス**
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

2025年3月期通期 連結業績予想（修正なし）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想	対前期増減	
			増減額	増減率
売上高	566,443	598,300	31,856	5.6%
営業利益	33,519	35,300	1,780	5.3%
経常利益	39,173	40,400	1,226	3.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37,082	29,000	▲8,082	▲21.8%

【フジテレビ】広告収入の2025年3月通期見込み（修正なし）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	対前期増減	
ネットタイム	63,551	64,500	949	1.5%
ローカルタイム	10,135	10,000	▲135	▲1.3%
スポット	73,662	74,000	338	0.5%
放送収入合計	147,348	148,500	1,152	0.8%

セグメント別業績予想（修正なし）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

	事業セグメント			合計	調整額	連結損益 計算書 計上額	
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光 事業	その他 事業				
売上高	2025年3月期 通期予想	434,000	164,500	19,800	618,300	▲20,000	598,300
	2024年3月期 通期実績	433,663	128,316	19,818	581,799	▲15,355	566,443
	増減率	0.1%	28.2%	▲0.1%	6.3%	—	5.6%
営業利益	2025年3月期 通期予想	16,500	20,700	900	38,100	▲2,800	35,300
	2024年3月期 通期実績	15,706	19,537	944	36,187	▲2,667	33,519
	増減率	5.1%	6.0%	▲4.7%	5.3%	—	5.3%

設備投資計画と減価償却費（計画修正なし）

2. 2025年3月期
通期業績予想

（単位：百万円）

		2025年3月期		2026年3月期
		2Q累計 (実績)	通期 (計画)	通期 (計画)
設備投資額	連 結	30,002	80,000	78,000
	フジテレビ	2,143	8,000	6,000
	都市開発・観光事業	25,157	65,000	65,000
	フジ・メディアHD	1,425	4,500	3,200
減価償却費	連 結	9,748	20,600	21,000
	フジテレビ	2,995	6,500	6,800
	都市開発・観光事業	3,864	8,500	8,600
	フジ・メディアHD	989	2,300	2,600

ポニー キャニオン

アーティスト、アニメの海外展開を軸に
投資を継続し収益の拡大化を目指す

- 方向性
強みである「アニメ」と「音楽」の「グローバル」への展開を軸に、IPやアーティストの価値の最大化を目指し、積極的な投資を継続
- クリエイティブ
・ 既存アーティストやアニメへの投資を継続
・ 新人アーティストの更なる発掘や育成
- グローバル
・ アメリカと台湾の海外子会社の活用
・ アニメタイアップを通じた自社の楽曲とアーティストの海外展開
・ アニメ等の海外販売の強化
・ 海外ドラマのファンクラブやファンイベントの日本での開催



シンガー・ソングライター
eill

2021年にTVアニメ
『東京リベンジャーズ』の
エンディング主題歌で
メジャーデビュー

24年10月期のフジテレビ月9
主題歌で話題



シンガー・ソングライター
TOMOO

24年10月期のフジテレビ水10
エンディング主題歌に抜擢

DINOS CORPORATION

消費者のニーズの変化を踏まえた
商品開発と販路開拓へ

- 方向性
消費動向の変化に応じた商品開発・販路・販促施策を見直し
業績の回復を目指す
- 商品
ファッション：『DAMA』ブランド20周年にあわせ
スペシャルコラボアイテム等展開
リビング：厳選アイテムの開発と
売れ筋商品を中心とした商品絞り込みで
販売数量の最大化に注力
- 販路
テレビ・カタログ・ウェブのチャネルを複合的に活用し
相互送客の最大化を狙う
テレビ通販：ディノスオリジナルの新商品開発の強化・積極投入
カタログ通販：商品構成や発行規模（部数）等の見直し
ウェブ通販：SEO対策の強化とテレビ・カタログとの連動



放送・メディア : 放送と配信を合わせた広告収入の拡大を目指す 10月改編はバラエティとアニメの新番組を投入
コンテンツ・ビジネス : 映画、デジタル、MD、アニメなどで一層の収入増を目指す

放送・メディア

タイムテーブル 2024年10月 秋の改編
「一緒に笑えるだけで、しあわせ」



- **レギュラー** :
アニメ「ドラゴンボールDAIMA」を
金曜23時40分から放送
ドラマ枠を金曜から火曜の21時へ移行
バラエティは火曜20時、木曜、金曜の21時を改編
- **単発** :
年末年始は「FNS歌謡祭」など
配信での再生も期待できる番組を編成

放送収入 放送収入はタイム・スポット共に回復基調
配信広告収入 配信広告もさらなる成長へ

- **放送収入** :
タイム : 10月にMLB「ワールドシリーズ」を放送
スポット : 活況な市況のもと、上期に続き下期も前年超えを見込む
- **配信広告収入** :
ユーザーの一層の増加を目指し、地上波の見逃し配信に加え、アーカイブ
ドラマ等も引き続き活用、より幅広い広告主からの更なる出稿拡大を期待

コンテンツ・ビジネス

映画 劇場公開と
配信権販売の2本柱

- **劇場公開** : 公開予定作品・公開日
「室井慎次 敗れざる者」10月11日
「室井慎次 生き続ける者」11月15日
「踊るプロジェクト」
再始動！
- **二次利用**
前年度ヒット作はじめ
アーカイブを活用



デジタル (FOD) アーカイブと地上波連動で
会員数のさらなる増加へ

- **FOD** :
「#ドラ活 浸れ、超自分的ドラマ生活。」で
人気のフジテレビドラマをFOD・TVerで
毎日無料公開するキャンペーンを実施
地上波や映画公開と連動した作品も公開



アニメ 一層の成長を目指す



- **レギュラー** :
「ノイタミナ」
「+Ultra」
「B8station」の3枠や
「めざましテレビ」等の
レギュラー番組で
配信PFとも連動し
収益の拡大を目指す
- 「ちいかわ」が人気

賃貸事業

住宅等



志村坂上
賃貸レジデンス

- 志村坂上賃貸レジデンス計画
79戸：2024年10月竣工
- 台東二丁目賃貸レジデンス計画
99戸：2025年1月竣工予定
- 江東区永代一丁目賃貸レジデンス計画
69戸：2025年2月竣工予定

物流施設



- SANKEILOGI府中
2024年9月竣工
敷地面積 16,876.98㎡(5,105.29坪)
延床面積 39,616.85㎡(11,984.10坪)
施設タイプ：RC+S造4階 スロープ型(1・2階バース)

販売・売却事業

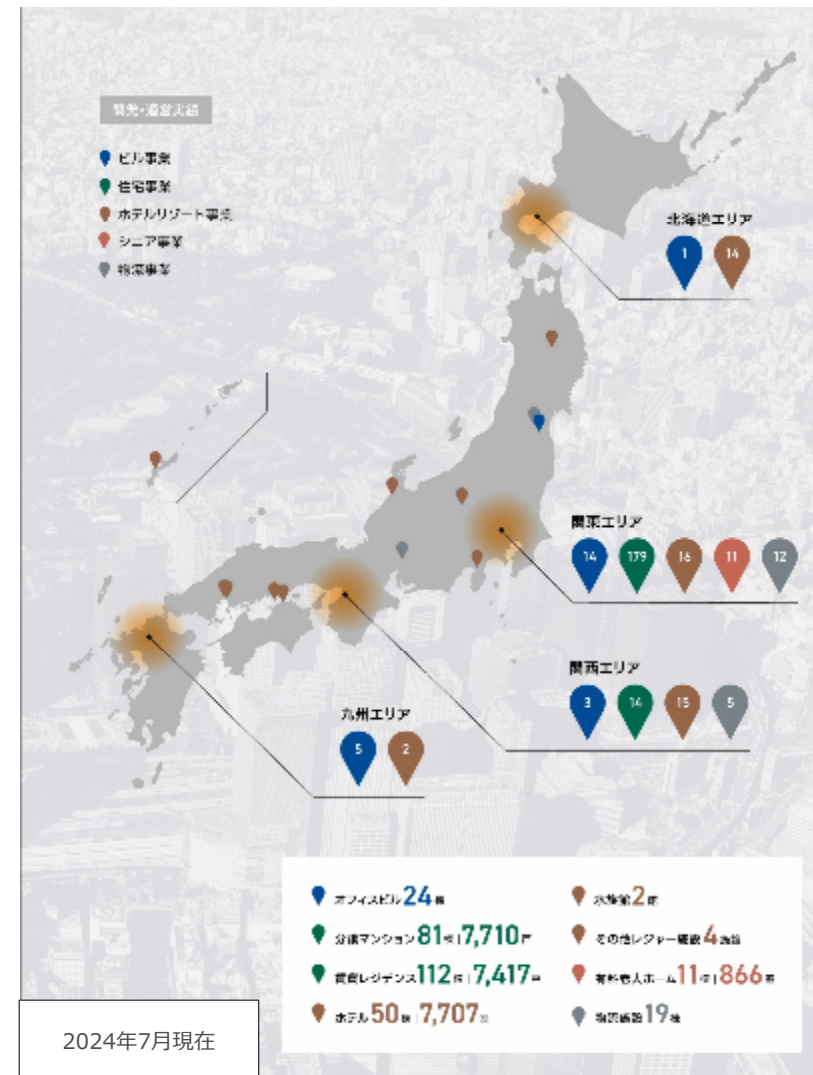
分譲



ルフォン船堀
ザ・タワーレジデンス

- ルフォン船堀 ザ・タワーレジデンス
133戸：2025年6月より引き渡し予定
- ルフォンリブレ板橋本町
47戸：2025年6月より引き渡し予定

参考：サンケイビルグループ保有物件



グランビスタ ホテル&リゾート

その他

ホテル事業は 国内外の旺盛な需要を見込む

- **札幌グランドホテル・札幌パークホテル**
年未年始に向けた国内観光客による宿泊と法人等向け飲料売上に期待
札幌パークホテルでは自社農園を運営
収穫した野菜はレストランで提供し食育にも活用
- **インターゲートホテルズ（HIG）**
東京、大阪、京都等の大都市圏を中心に
インバウンドと国内観光客の増加を見込む
地域の伝統文化イベント等を開催し
価値ある体験により付加価値創出へ



ホテルインターゲート京都 四條新町

神戸須磨シーワールド・シーワールドホテル 来場者の動向を踏まえ、満足度向上を目指す

- **水族館：神戸須磨シーワールド**
 - ・社会・地域貢献や飼育生物の福祉にも配慮し、エンタメと教育を行う「エデュテインメント水族館」として、神戸の観光集客への貢献を意識しつつ、年間約200万人の集客を目指す
 - ・西日本で唯一、シャチのダイナミックなパフォーマンスを実施
シャチを観ながら食事できるレストランで兵庫県の地産地消をテーマにしたメニューを提供
世界初のシャチに関する教育ゾーン「オルカラボ」「同ホール」設置
- **宿泊：神戸須磨シーワールドホテル（全80室）**
 - ・日本初、イルカとふれあう「ドルフィンラグーン」を常設
 - ・大型の水槽付プレミアムルーム、瀬戸内海の絶景を望む特別ルーム
地産地消buffetレストラン等で、さまざまな体験機会を提供



神戸須磨シーワールド



神戸須磨シーワールドホテル

- **サンケイビル マネジメント**
保守清掃事業での新規受注獲得
サンケイビル保有物件内での入退去工事等に対応
- **サンケイビル ウェルケア**
高齢者とご家族のニーズに合った自立支援の介護サポートを提供



ウェルケアヒルズ馬事公苑

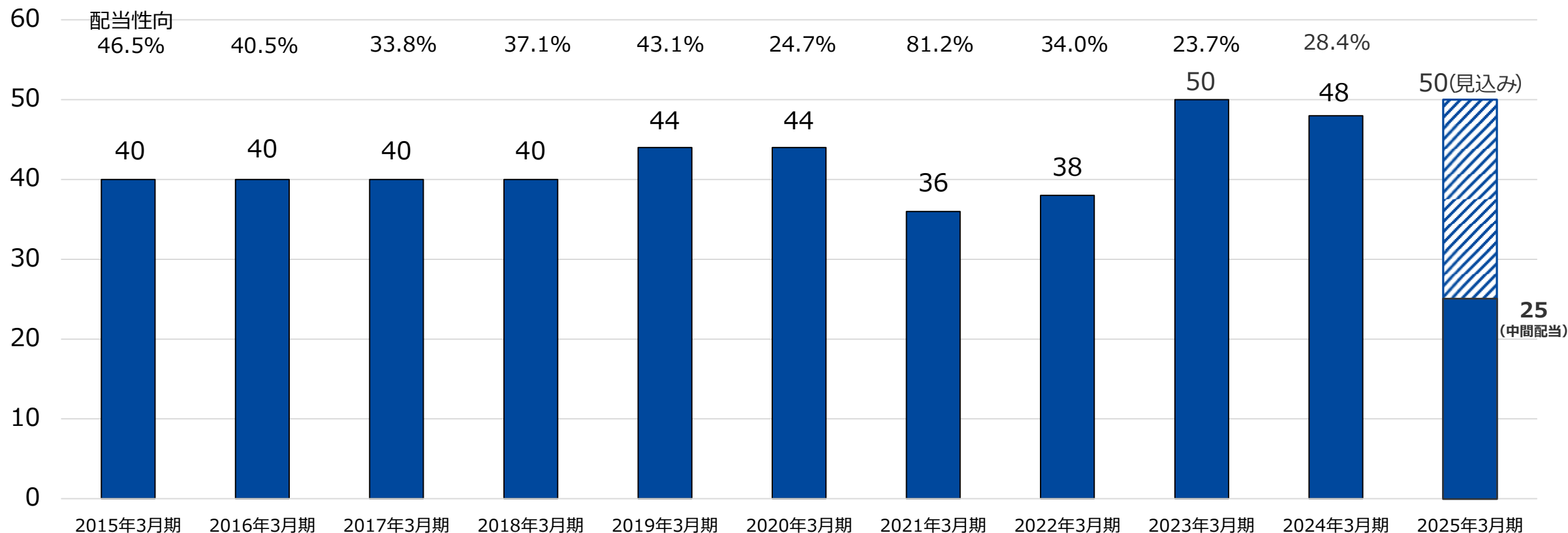
目次

- 1 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 **株主への利益還元**
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

株主への利益還元：配当

方針

■ 2025年3月期 年間配当50円（見込み・対前期比+2円）
 連結ベースの配当性向40%を基本に、配当の安定性等を考慮して決定



※2019年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行10周年及び（株）フジテレビジョン開局60周年記念配当4円を含む
 2023年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行15周年及び（株）フジテレビジョン開局65周年記念配当10円を含む

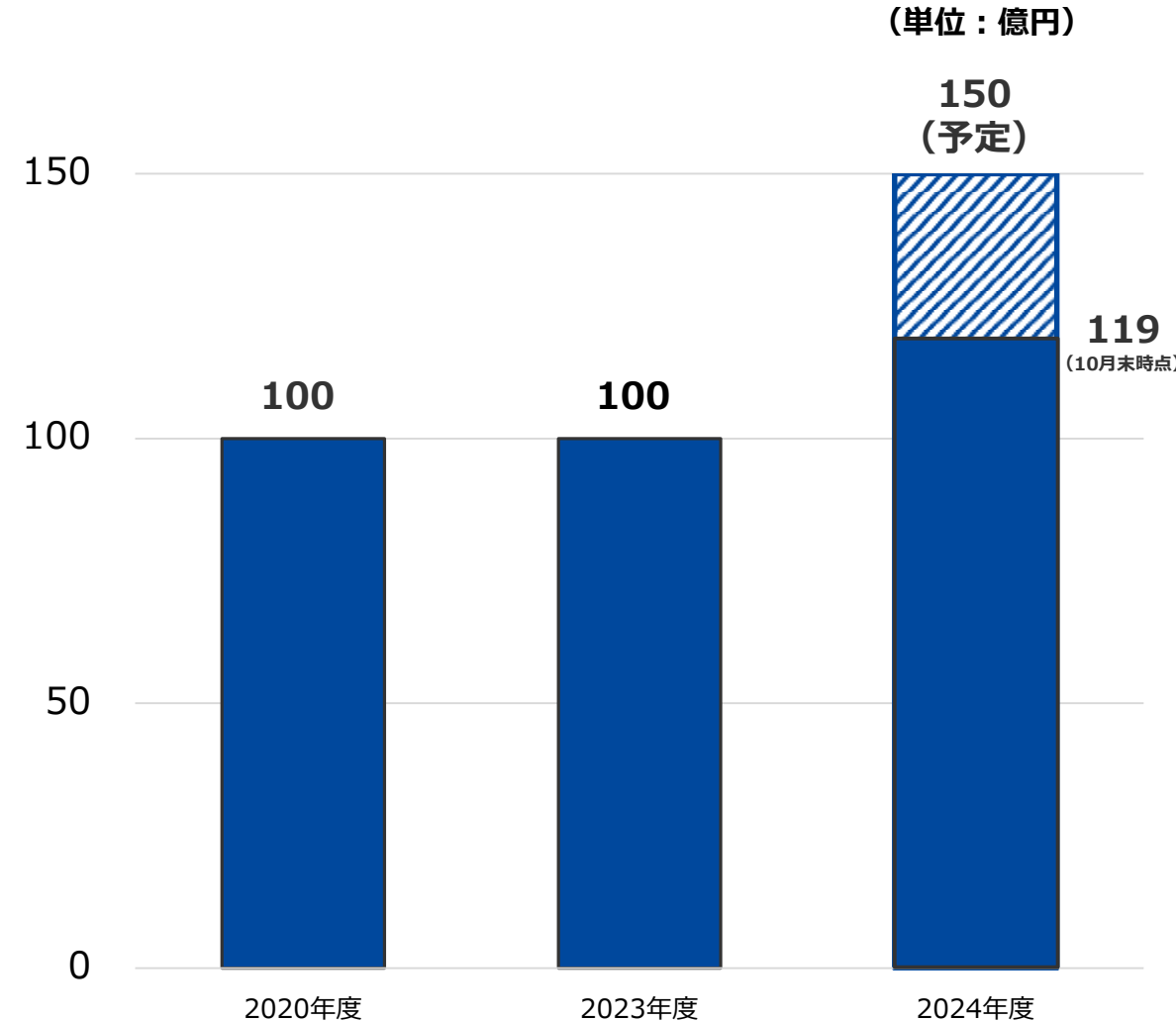
※名義書換を拒否した外国人に対する配当金の支払いについて
 当社は2009年3月期より、放送法の規定により議決権割合20%以上となり株主名簿への記載を拒否する外国人に対しても、配当の支払いを実施

■ 自己株式取得の考え方

機動的な自己株式取得等の資本政策により
資本収益性の向上を図る

■ 実績と2024年度の進捗

- ・ 2020年度および2023年度で
合計200億円の自己株式取得を実施
- ・ 2024年度も150億円実施予定
10月末までに119億円取得済



目次

- 1 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 **中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み**
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 参考資料

業績目標

「人々が心を潤し、生活を豊かにするすべてのもの」を「コンテンツ」と捉え一人ひとりの生活スタイルに適ったメディア・販路・提供手段で届けることで
2025年度に連結営業利益400億円を目指す

事業の 方向性

■メディア・コンテンツ事業

2025年度営業利益目標：240億円

- ・生活者との接点の拡大と創出
- ・コンテンツ制作の体制強化
- ・コンテンツ強化への投資加速

■都市開発・観光事業

2025年度営業利益目標：180億円

- ・都市開発：アセットタイプの拡大や大規模開発の発掘
- ・観光：国内観光需要・インバウンド回復の取り込み
- ・一定の財務規律のもとでの投資の拡大

財務の 方向性

■成長のための投資を継続・株主還元を重視し資本収益性の向上へ

- ・バランスシートの見直しと戦略的活用により、**成長投資を推進**
- ・安定的な配当の継続と、機動的な自己株取得の検討による**株主還元**
- ・成長投資への活用に向け、「**政策保有株式**」を**投下資本の20%以下への減少**を目指す
- ・成長投資等に向け、**連結自己資本比率50%を下限に、外部借入を拡大**
- ・資本収益性の向上と成長期待・株主還元の推進でPBR上昇を目指す

非財務の 方向性

■ガバナンス体制の向上・人的資本の強化、サステナビリティの推進

- ・経営諮問委員会の設置
- ・女性管理職比率の向上
- ・成長戦略実現や新たな価値創造に貢献できる多様な人財の獲得・育成
- ・2050年のカーボンニュートラル実現を目指す

中期グループビジョン 今後の方針（2024年5月公表）

資本収益性の向上

政策保有株式

成長投資および株主還元の推進に向け、
2030年度までに純資産比20%未満を目標とする

成長投資

外部借入や保有資産の見直し等により
キャッシュを創出し利益を拡大する成長投資を継続

配当

配当は連結ベースの配当性向40%を基本に
安定性等を考慮して決定

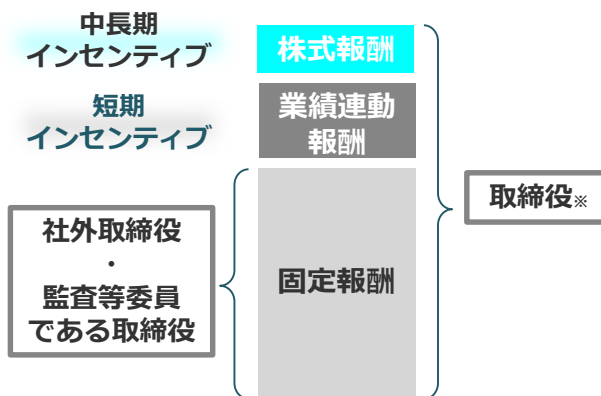
自己株式取得

前期・今期に続き来期以降も
自己株式取得の継続的な実施を検討

役員報酬

取締役に対し譲渡制限付株式報酬を導入（2024年6月）
目的：株主との一層の価値共有を進め、
グループの企業価値の持続的な向上を
図るためのインセンティブを付与
譲渡制限期間：退任時まで

**ROE 5%以上を
目指す**



※社外取締役・監査等委員である取締役を除く

中期グループビジョン 実績と方向性

	2023年度 実績	2024年度			2025年度 中期グループビジョン 目標
		上期	下期	通期予想	

業績

メディア・
コンテンツ
事業

売上高
4,336億円
営業利益
157億円

売上高
2,053億円
営業利益
47億円

- フジテレビ
放送収入回復、配信成長
- ポニーキャニオン
アニメ、グローバル強化
- DINOS
商品と費用の見直し継続

売上高
4,340億円
営業利益
165億円

- 配信関連と
コンテンツ
ビジネスの
更なる強化
- 放送と通販の
業績改善

営業利益
240億円

都市開発・
観光
事業

売上高
1,283億円
営業利益
195億円

売上高
602億円
営業利益
98億円

- 賃貸、販売・売却
賃料・稼働率上昇、売却推進
- ホテルリゾート
ホテル・「神戸須磨」貢献

売上高
1,645億円
営業利益
207億円

- 賃貸利益の向上と
保有物件の計画的
売却の推進
- 財務規律に沿った
投資継続
- 観光需要の取込

営業利益
185億円

連結

売上高
5,664億円
営業利益
335億円

売上高
2,681億円
営業利益
138億円

売上高
5,983億円
営業利益
353億円

営業利益
400億円

利益
拡大

ROE 5%
以上を
目指す

収益性
向上

資本
収益性

政策保有株式	185億円 (縮減)
成長投資	1,103億円
配当	48円
自己株式取得	100億円

2030年度までに純資産比20%未満を目標	
300億円	利益拡大に向けた成長投資を継続
50円	連結ベースの配当性向40%を基本に安定性等を考慮
150億円実施（10月末までに119億円実施）	継続的な実施を検討

目次

- 1 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 **サステナビリティの取り組み**
- 6 参考資料

サステナビリティの取り組み

DINOS 法人向け家具 レンタルサービス 『flect Biz』

■法人向け家具レンタルサービス『flect Biz（フレクトビズ）』開始

- 2017年に開始した、新品家具レンタルサービス『flect（フレクト）』はこれまでの個人向けに加え、要望の高かった法人向けサービス『flect Biz（フレクトビズ）』を今年8月からスタート
- 家具を“試してから購入する”という新たな選択肢の提案は、現代のライフスタイルにマッチするとともに、SDGs視点でも好評
- レンタル終了後の家具はリユースプロジェクト*₁や奨学家具プロジェクト*₂などを通じ、環境に配慮した循環型サービスとして展開中



*1_リユースプロジェクト

状態の良いものはリユースし新たな持ち主に繋いでいく。状態が悪いものは家具のパーツに分類し再利用。

*2_奨学家具プロジェクト

『flect（フレクト）』は2024年から「奨学金を受給しながら学生生活を送る学生に、状態の良い戻り品を無償で提供する事業「奨学家具プロジェクト」をスタート。『flect Biz（フレクトビズ）』で回収された製品も奨学家具として提供される予定。

■めざまし media、ESSEonline、grape の 3 ウェブメディアが「防災の日」特集で連携

- 自然災害の激甚化が顕著になったことから、家庭の防災意識は年々向上
メディアには、被害を未然に防ぐ防災情報の発信への期待が増しつつある
- 防災への意識が特に高まる 9 月 1 日の「防災の日」に合わせ
「ESSEonline」「grape」が、昨年から防災関連の特集ページを設置
- 今年は「めざまし media」が加わり、メディア特性を活かしながら
ユーザーに情報を発信する連携企画にリニューアル



フジテレビ 扶桑社 grape 「防災の日」特集

サンケイビル 「SANKEILOGI 府中」竣工

■ 物流施設「SANKEILOGI府中」竣工

- 最寄りの「北府中駅」から徒歩約10分
物流施設の立地としては通勤アクセスが良く、従業員確保の面で魅力的
4階には富士山を望めるテラスを併設した共用ラウンジを設置
心身共にリフレッシュできる環境を提供
- 有事の際に防災拠点として機能する公園を整備
敷地内には、府中市の遺跡登録を受けている「横海道北1号塚」を保存
一般にも開放し、地域社会に貢献する物流施設を目指す



外観



横海道北一号塚

働きやすい職場 の実現

■ 共同テレビジョン

厚生労働省「えるぼし認定」の二つ星を獲得
女性の活躍推進に積極的に取り組む優良な企業として認定



■ DINOS CORPORATION

従業員が最大限のパフォーマンスを発揮するためには、安心して働ける職場環境を整えることが必要と考え、「カスタマーハラスメントに対するガイドライン」を策定

■ グランビスタ ホテル&リゾート

2023年度決算賞与で3.3か月分を支給、
2024年4月賃上げ分と合わせ、全社平均15.4%の年収アップ
キャストの働きがい向上や、人材採用力の更なる強化と優秀な人材の安定確保を目指す

目次

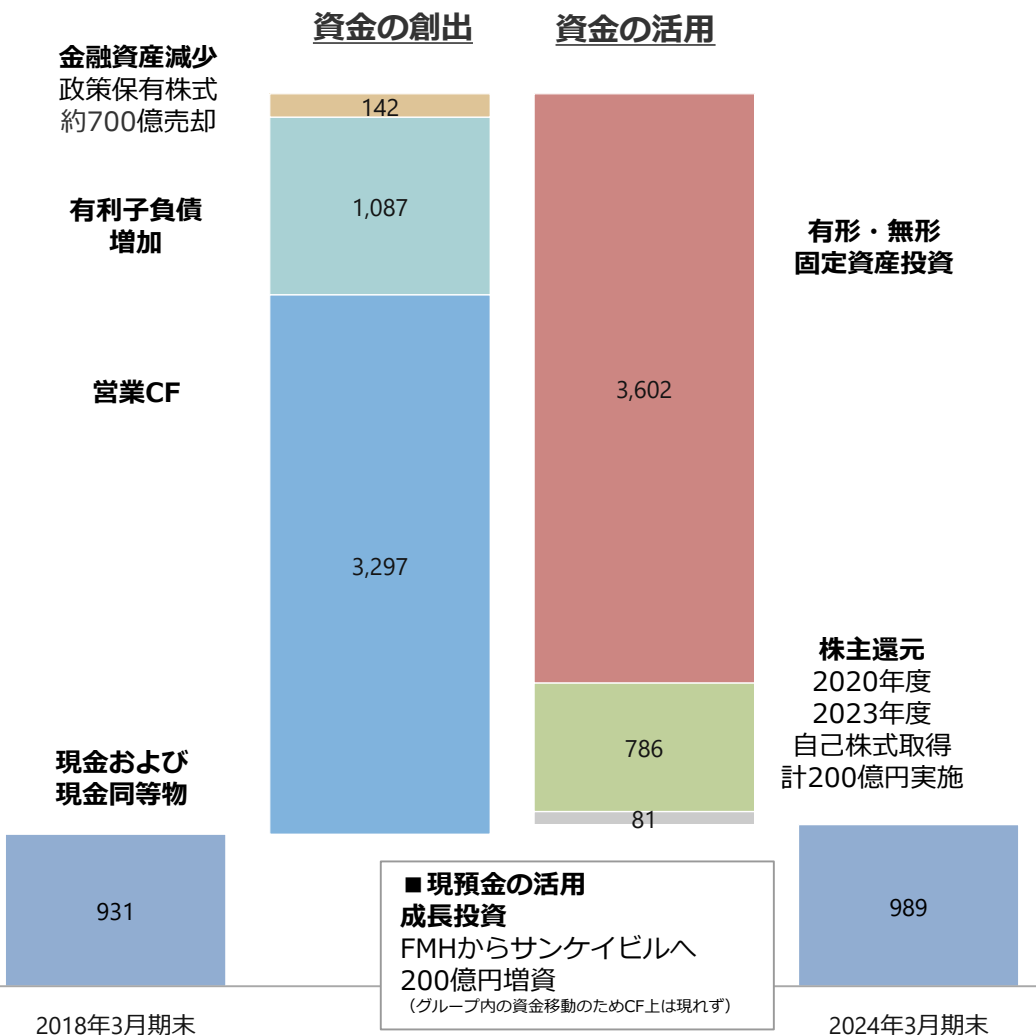
- 1 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要
- 2 2025年3月期 通期業績予想とトピックス
- 3 株主への利益還元
- 4 中期グループビジョンを通じた資本収益性向上の取り組み
- 5 サステナビリティの取り組み
- 6 **参考資料**

(金額単位：百万円) ※1株あたり年間配当は円

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	631,482	519,941	525,087	535,641	566,443
営業利益	26,341	16,274	33,338	31,401	33,519
親会社株主に帰属する 当期純利益	41,307	10,112	24,879	46,855	37,082
売上高当期純利益率	6.5%	1.9%	4.7%	8.7%	6.5%
有利子負債	247,915	288,403	272,148	276,900	324,760
純資産	745,574	784,429	808,788	848,769	869,628
投下資本 (有利子負債+純資産)	993,490	1,072,833	1,080,937	1,125,670	1,194,389
総資産	1,254,613	1,336,042	1,335,991	1,382,646	1,448,833
政策保有株式 (FMH)	173,095	233,466	236,808	227,445	216,356
対投下資本割合	17.42%	21.76%	21.91%	20.21%	18.11%
対純資産割合	23.22%	29.76%	29.28%	26.80%	24.88%
自己資本比率	58.6%	57.9%	59.7%	60.6%	59.2%
総資産当期純利益率	3.2%	0.8%	1.9%	3.4%	2.6%
自己資本当期純利益率	5.6%	1.3%	3.2%	5.7%	4.4%
株価収益率	6.0	30.6	10.5	5.7	11.7
株価純資産倍率	0.34	0.39	0.33	0.32	0.50
1株あたり年間配当 (円)	44	36	38	50	48
自己株式取得額 ※1	10,000	—	—	10,000	15,000予定
総還元性向 ※2	49.15%	81.38%	34.42%	45.39%	68.99%

資金の活用状況と設備投資実績

■ 直近6年の資金の活用状況



■ 設備投資実績

(単位：億円)

	メディア・コンテンツ	都市開発	その他
2019年 3月期	本社ビル土地（底地）取得 放送機材の取得 スタジオ設備・ 物流関連設備の改修・更新 242	オフィスビル、ホテル及び シニア施設開発用地の取得 464	事務用機器などの リース資産の取得 6
2020年 3月期	放送機材の取得 スタジオ設備の更新 中継車等のリース資産の取得 132	ホテル、オフィスビル及び シニア施設の取得 247	事務用機器などの リース資産の取得 5
2021年 3月期	編集用設備の更新 放送機材の取得 スタジオ設備の更新 60	オフィスビル建設、賃貸物件 及びホテルの開発用地取得 359	事務用機器などの リース資産の取得 2
2022年 3月期	スタジオ設備・ 放送用回線設備の更新 放送機材の取得 55	オフィスビル建設や 賃貸物件開発用地の取得 320	事務用機器などの リース資産の取得 2
2023年 3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得 57	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得 450	事務用機器などの リース資産の取得 5
2024年 3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得 68	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得 914	事務用機器などの リース資産の取得 3
合計	614	2,754	23

*有価証券報告書の「設備投資等の概要」等から引用した数値であり、キャッシュフロー計算書上の有形・無形固定資産投資の数字とは異なる

セグメント別 資産等

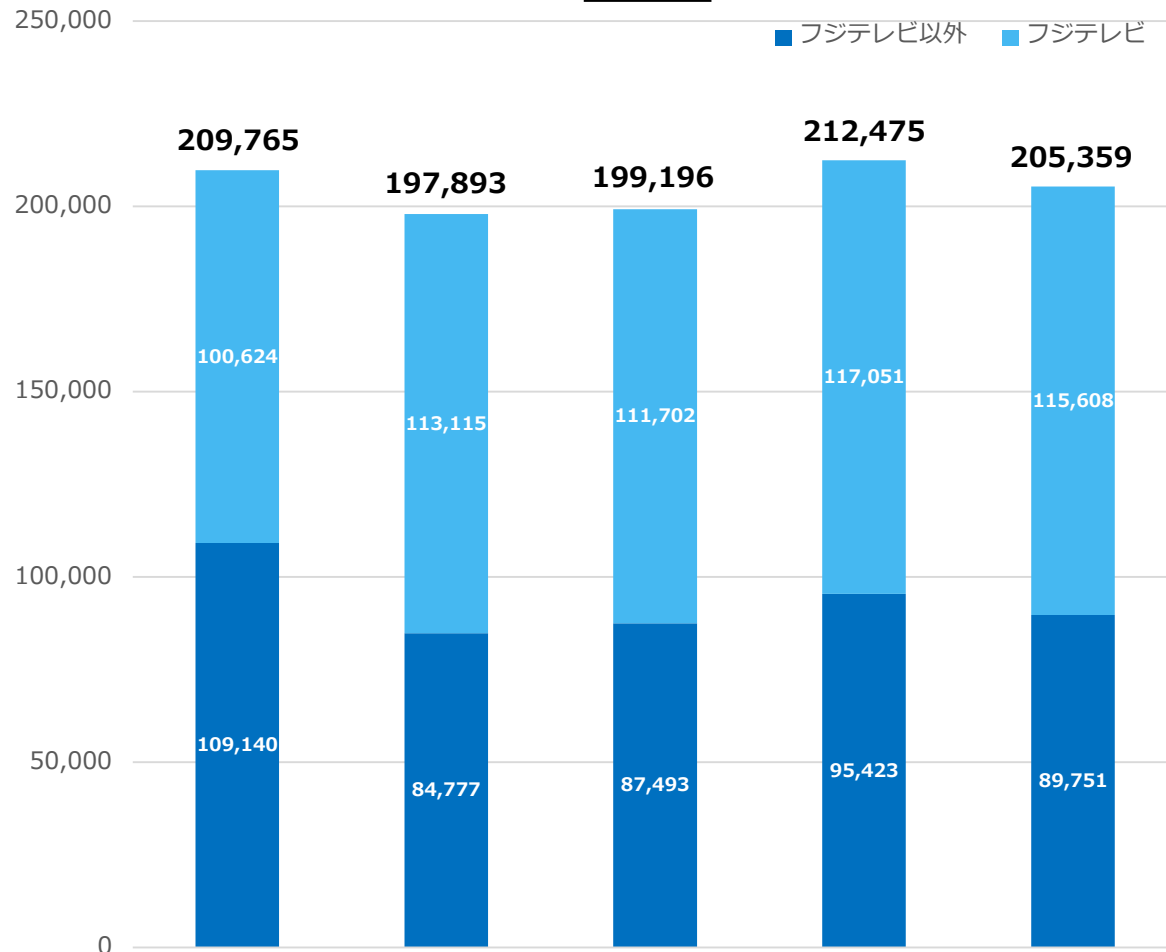
(単位：百万円)

		事業セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
営業利益	2024年度2Q累計	4,786	9,813	361	14,961	▲1,082	13,879
	2023年度2Q累計	4,156	9,749	490	14,396	▲1,375	13,021
	増減	629	64	▲128	565	292	857
	増減 (%)	15.1%	0.7%	▲26.2%	3.9%	—	6.6%
資産	2024年度2Q末	519,454	601,002	22,476	1,142,933	332,731	1,475,664
	2023年度2Q末	512,878	556,020	22,829	1,091,727	313,836	1,405,564
	増減	6,576	44,982	▲352	51,205	18,894	70,099
	増減 (%)	1.3%	8.1%	▲1.5%	4.7%	—	5.0%

セグメント	会社名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、DINOS CORPORATION、クオラス、扶桑社、NEXTEP、 フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、共同エディット、バスク、バンエイト、 ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 シンコーミュージック・パブリッシャーズ、グレイプ、イミ二免疫薬粧、 FUJI MUSIC GROUP, INC.、ARC/CONRAD MUSIC LLC	24社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタ ホテル&リゾート、 サンケイビルマネジメント、サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、 サンケイ会館、サンケイビル・アセットマネジメント、 SKB USA LLC、SKB PORTLAND LLC、Sankei Investor 1201,LLC	10社
その他	フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL, INC.	4社
合計		38社

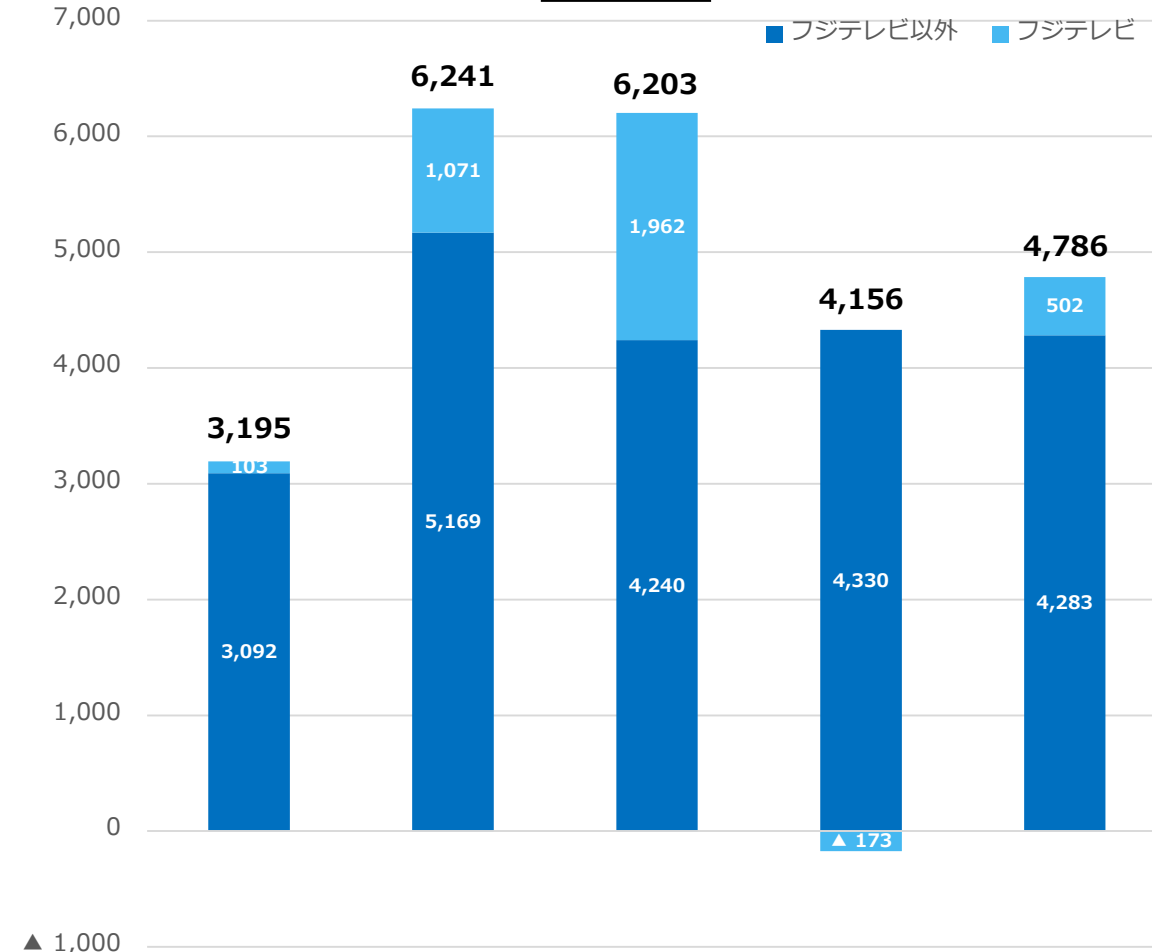
(単位：百万円)

売上高



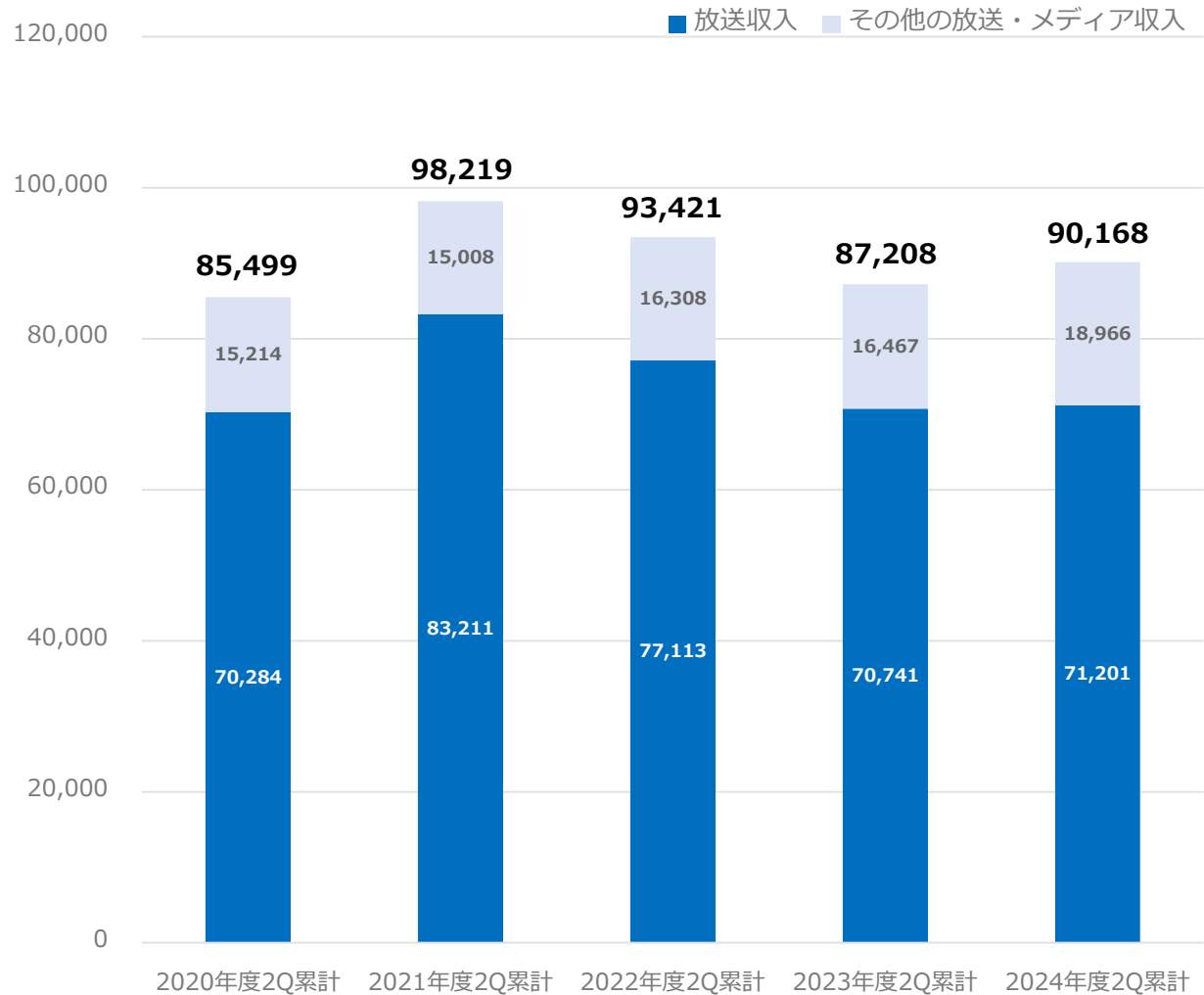
2020年度2Q累計 2021年度2Q累計 2022年度2Q累計 2023年度2Q累計 2024年度2Q累計
※フジテレビ以外はセグメント売上とフジテレビ売上の差額。セグメント内調整を含む

営業利益

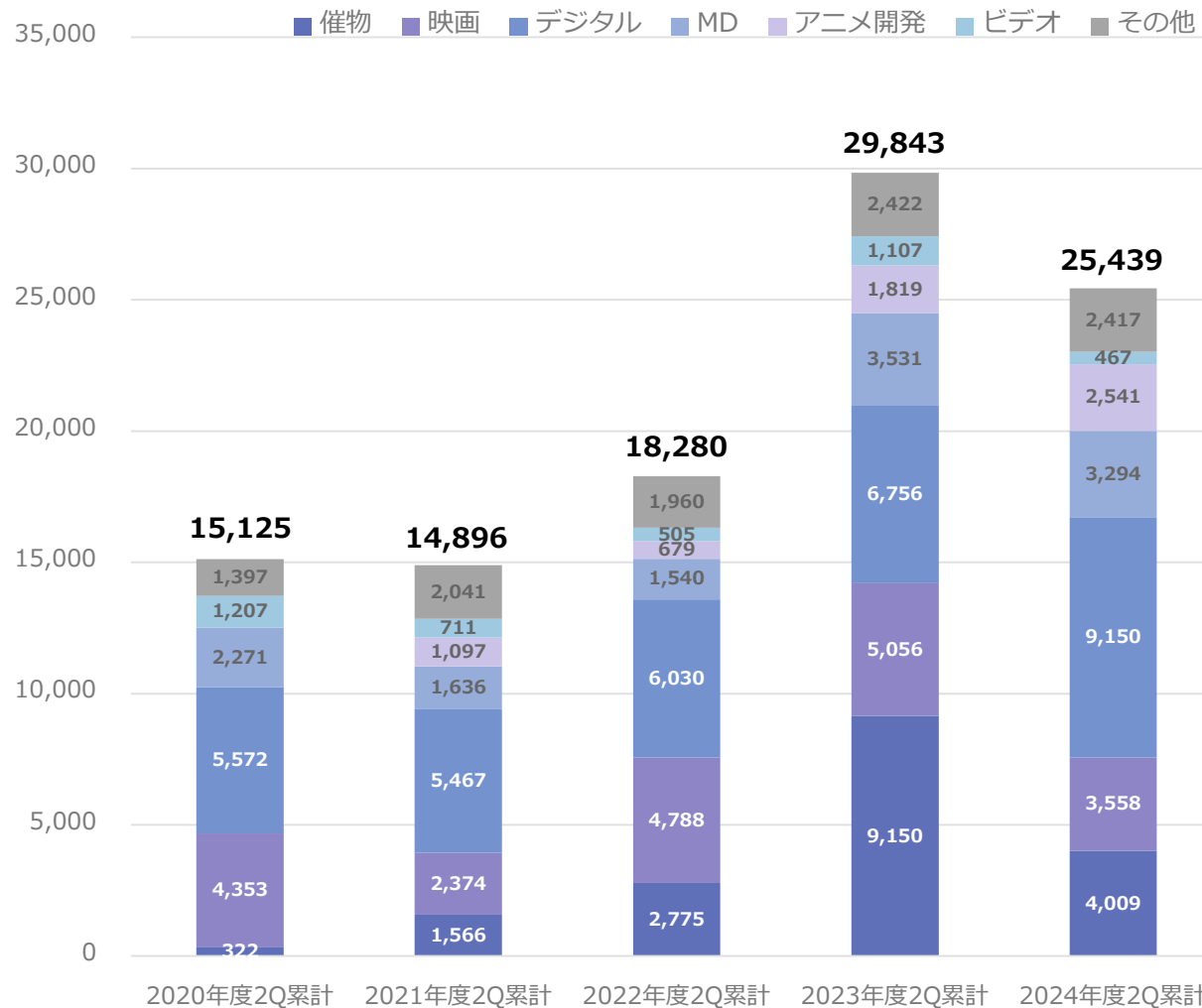


2020年度2Q累計 2021年度2Q累計 2022年度2Q累計 2023年度2Q累計 2024年度2Q累計
※フジテレビ以外はセグメント利益とフジテレビ営業利益の差額。セグメント内調整を含む

■放送・メディア収入の売上内訳推移 (単位：百万円)



■コンテンツ・ビジネス収入の売上内訳推移 (単位：百万円)



■ 広告収入

(単位：百万円・%)

	2023年度				2024年度				対前期比増減				対前期比			
	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計	ネット	ローカル	スポット	合計
1Q	15,411	2,354	18,377	36,142	14,933	2,402	17,976	35,313	▲ 477	47	▲ 400	▲ 829	96.9%	102.0%	97.8%	97.7%
2Q	16,325	2,451	15,820	34,598	16,897	2,584	16,406	35,888	571	132	585	1,290	103.5%	105.4%	103.7%	103.7%
上期	31,737	4,806	34,197	70,741	31,831	4,986	34,383	71,201	94	180	185	460	100.3%	103.8%	100.5%	100.7%
3Q	16,396	2,706	19,980	39,083												
4Q	15,418	2,622	19,484	37,524												
下期	31,814	5,329	39,464	76,607												
通期	63,551	10,135	73,662	147,348												

■ 視聴率

* ビデオリサーチ調べ ・ 関東地区：ゴールデン：19時～22時 ・ プライム：19時～23時 ・ 全日：6時～24時 ・ 個人、個人全体：4歳以上 ・ コア、コアターゲット：13歳～49歳

(単位：%)

2Q	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	3.4	2.7	3.4	2.5	2.2	1.6
日本テレビ	5.2	4.0	4.9	3.8	3.4	2.4
テレビ朝日	5.0	2.0	5.0	2.2	3.5	1.1
TBSテレビ	4.2	2.9	4.1	2.8	2.8	1.5
テレビ東京	3.0	1.3	2.6	1.1	1.2	0.4

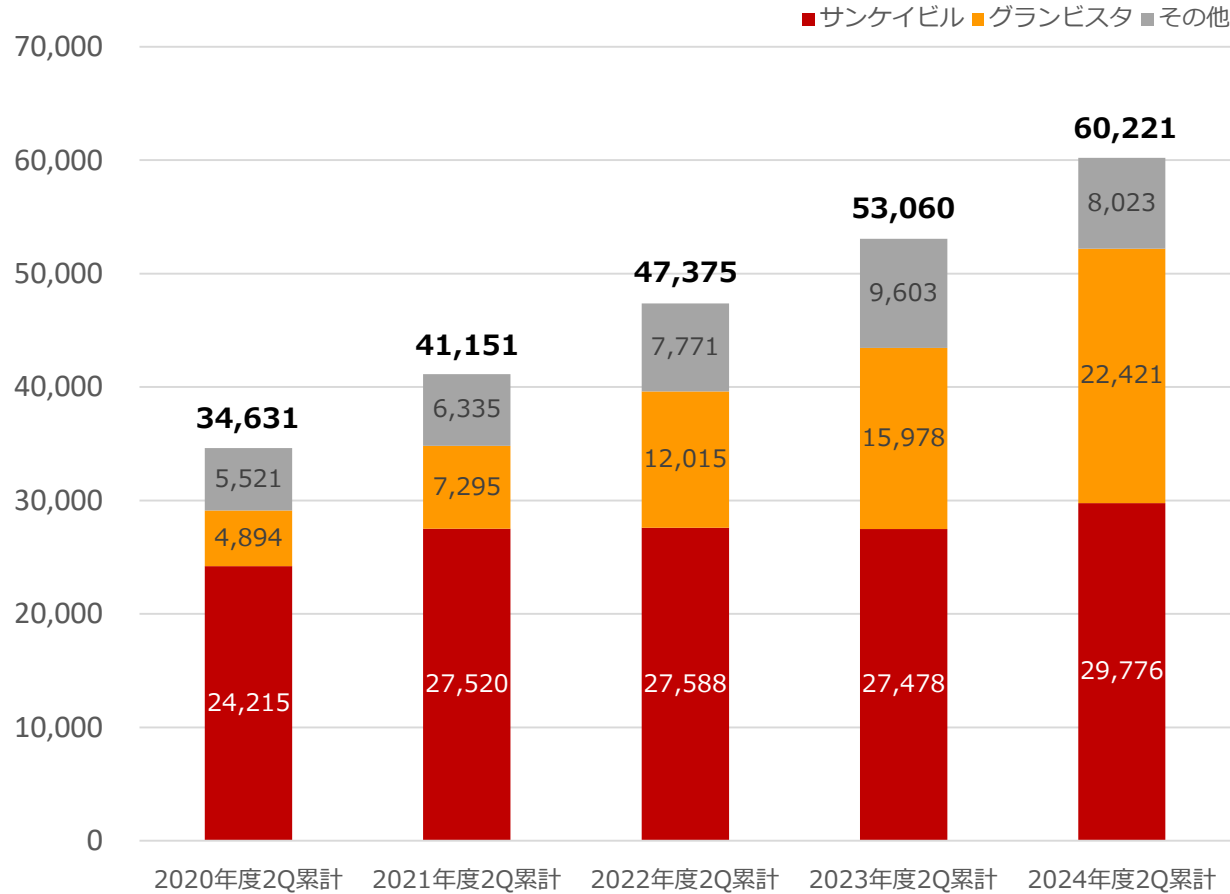
PUT	31.1	16.2	29.0	15.5	19.3	8.9
-----	------	------	------	------	------	-----

上期	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	3.4	2.7	3.3	2.6	2.2	1.6
日本テレビ	5.1	4.0	4.8	3.8	3.3	2.4
テレビ朝日	5.0	2.0	5.0	2.1	3.4	1.1
TBSテレビ	4.2	2.9	4.0	2.8	2.7	1.5
テレビ東京	3.0	1.3	2.6	1.1	1.1	0.4

PUT	30.6	15.9	28.5	15.2	18.7	8.7
-----	------	------	------	------	------	-----

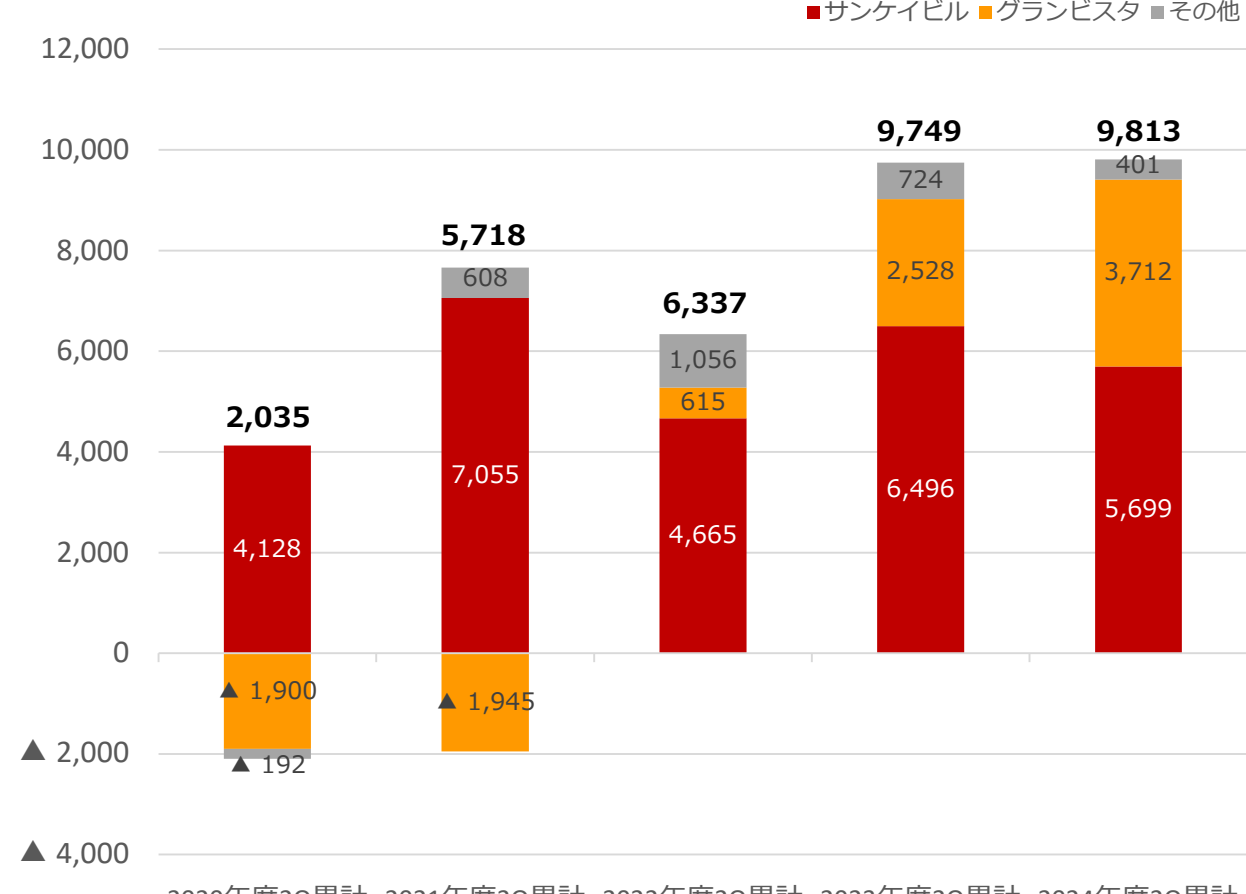
(単位：百万円)

売上高



※その他はセグメント売上とサンケイビルおよびグランビスタ売上との差額。セグメント内調整を含む。

営業利益



※その他はセグメント利益とサンケイビルおよびグランビスタ営業利益との差額。セグメント内調整を含む。

サンケイビルグループ^①連結の主要事業業績

(FMHとは連結対象が異なります)

6. 参考資料
都市開発・観光

■売上高

(単位：百万円)

	2023年度					2024年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	合計
第1四半期	5,766	11,164	7,490	4,788	29,210	6,035	9,853	9,786	4,226	29,901	691
第2四半期	6,145	4,413	9,561	4,323	24,443	6,441	7,468	14,679	3,345	31,934	7,491
上期	11,911	15,578	17,051	9,112	53,654	12,476	17,321	24,466	7,571	61,836	8,182
第3四半期	6,211	10,497	8,448	3,140	28,298						
第4四半期	6,272	33,184	7,809	5,070	52,337						
下期	12,483	43,682	16,258	8,211	80,635						
通期	24,395	59,260	33,310	17,323	134,289						

■営業利益

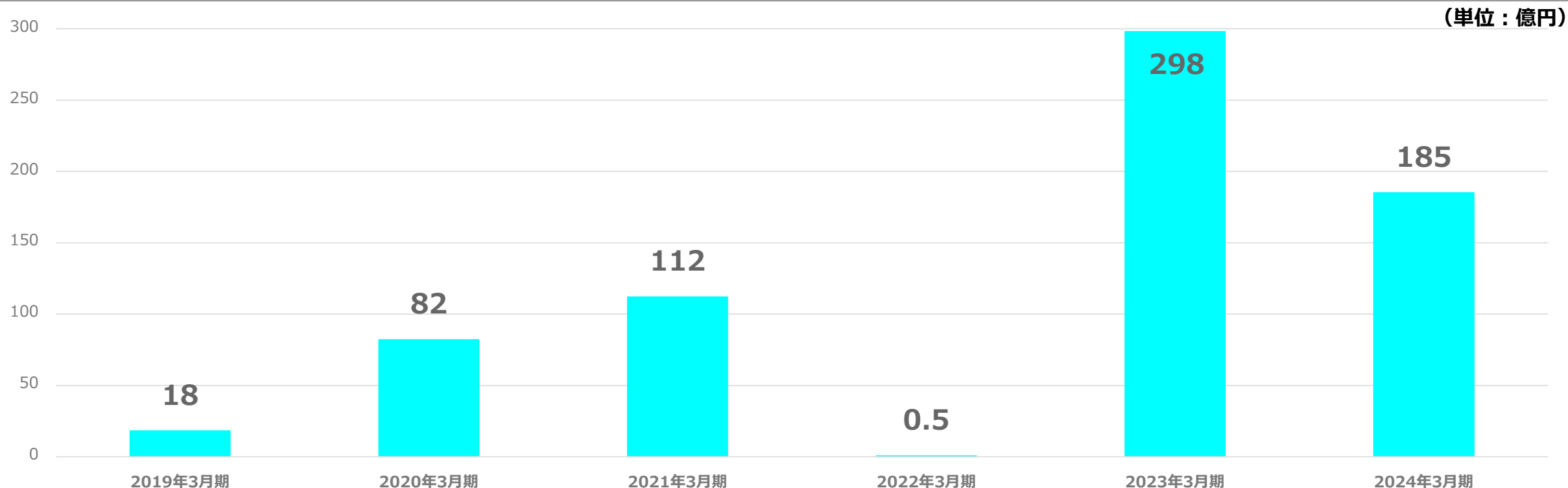
(単位：百万円)

	2023年度					2024年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ホテルリゾート事業	その他修正等	合計	合計
第1四半期	1,265	2,868	690	107	4,931	1,309	2,159	792	▲325	3,935	▲995
第2四半期	1,604	1,465	1,804	▲405	4,469	1,521	1,769	3,112	▲435	5,967	1,498
上期	2,870	4,333	2,494	▲298	9,400	2,831	3,929	3,904	▲760	9,903	503
第3四半期	1,514	2,633	595	▲1,991	2,751						
第4四半期	▲1,789	11,563	▲956	▲1,535	7,282						
下期	▲275	14,196	▲360	▲3,526	10,034						
通期	2,595	18,530	2,134	▲3,826	19,433						

考え方

取締役会において、銘柄ごとに、当社グループとの取引関係や規模、当該企業の業績や配当、株価などの定量的な側面も考慮の上、保有の合理性・必要性を検証。保有意義の希薄化が認められる銘柄等については、縮減の対象として検討。2030年度までに純資産比20%未満を目標とする。

過去6年間（2019年3月期～2024年3月期）で約700億円の縮減



中期グループビジョン 資本収益性関連数値（実績）

売上高当期純利益率（%）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
6.5%	1.9%	4.7%	8.7%	6.5%

総資産回転率（回）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
0.5	0.4	0.4	0.4	0.4

財務レバレッジ（倍）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

A：自己資本当期純利益率（%）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
5.6%	1.3%	3.2%	5.7%	4.4%

×

B：株価収益率（倍）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
6.0	30.6	10.5	5.7	11.7

||

時価総額（百万円）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
249,143	301,421	260,882	265,748	428,440

親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
41,308	10,114	24,881	46,856	37,083

A×B=C： 株価純資産倍率 （倍）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
0.34	0.39	0.33	0.32	0.50

第2四半期 (2024年7月~9月) 連結 決算概要

(単位：百万円)

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	対前期増減	
売上高	135,266	138,501	3,235	2.4%
営業利益	7,421	7,325	▲96	▲1.3%
経常利益	7,331	7,819	487	6.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,884	5,359	475	9.7%

セグメント別 売上高及び営業利益 (2024年7月～9月)

(単位：百万円)

	事業セグメント				計	調整額	連結損益 計算上 書額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発・ 観光事業	その他 事業				
売上高	2024年度2Q	106,415	31,189	4,674	142,279	▲3,778	138,501
	2023年度2Q	109,894	24,122	5,015	139,032	▲3,766	135,266
	増減	▲3,478	7,066	▲340	3,247	▲12	3,235
	増減 (%)	▲3.2%	29.3%	▲6.8%	2.3%	—	2.4%
営業利益	2024年度2Q	1,750	5,965	115	7,831	▲506	7,325
	2023年度2Q	2,969	4,673	242	7,884	▲462	7,421
	増減	▲1,218	1,291	▲126	▲52	▲43	▲96
	増減 (%)	▲41.0%	27.6%	▲52.2%	▲0.7%	—	▲1.3%
営業 利益率	2024年度2Q	1.6%	19.1%	2.5%	5.5%	—	5.3%
	2023年度2Q	2.7%	19.4%	4.8%	5.7%	—	5.5%

メディア・コンテンツ事業 会社別概要 (2024年7月~9月)

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減
フジテレビジョン	60,542	61,026	483 (0.8%)	293	▲778	▲1,072 (-)	0.5%	▲1.3%	▲1.8%
ビーエスフジ	4,426	4,588	161 (3.7%)	831	779	▲52 (▲6.3%)	18.8%	17.0%	▲1.8%
ニッポン放送	3,623	3,554	▲68 (▲1.9%)	221	429	207 (93.8%)	6.1%	12.1%	6.0%
フジクリエイティブ コーポレーション	3,502	3,784	281 (8.0%)	224	343	119 (53.2%)	6.4%	9.1%	2.7%
共同テレビジョン	4,069	3,371	▲698 (▲17.2%)	223	78	▲145 (▲65.0%)	5.5%	2.3%	▲3.2%

メディア・コンテンツ事業 会社別概要 (2024年7月~9月)

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減
ポニーキャニオン	10,114	9,721	▲392 (▲3.9%)	128	▲124	▲252 (-)	1.3%	▲1.3%	▲2.6%
フジパシフィック ミュージック	2,764	2,596	▲167 (▲6.1%)	315	192	▲122 (▲38.9%)	11.4%	7.4%	▲4.0%
D I N O S CORPORATION	12,051	10,783	▲1,268 (▲10.5%)	▲460	▲411	49 (-)	▲3.8%	▲3.8%	-
クオラス※	10,091	7,885	▲2,205 (▲21.9%)	626	408	▲217 (▲34.7%)	6.2%	5.2%	▲1.0%
その他及び セグメント内修正等	▲1,292	▲895	-	563	832	-	-	-	-

※クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期16,536百万円、当期13,730百万円。

フジテレビ (2024年7月~9月) 決算概要

(単位：百万円)

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	対前期増減	
売上高	60,542	61,026	483	0.8%
営業利益	293	▲778	▲1,072	—
経常利益	321	▲555	▲877	—
四半期純利益	159	▲446	▲605	—

フジテレビ (2024年7月~9月) 内訳別の収入及び粗利益

6.参考資料
2025年3月期 2Q決算概要
フジテレビ

(単位：百万円)

	内訳			計
		放送・メディア	コンテンツ・ビジネス	
収入	2024年度2Q	45,643	15,382	61,026
	2023年度2Q	42,964	17,577	60,542
	増減	2,678	▲2,195	483
	増減 (%)	6.2%	▲12.5%	0.8%
粗利益	2024年度2Q	9,559	3,833	13,392
	2023年度2Q	9,089	4,947	14,036
	増減	469	▲1,114	▲644
	増減 (%)	5.2%	▲22.5%	▲4.6%
粗利益率	2024年度2Q	20.9%	24.9%	21.9%
	2023年度2Q	21.2%	28.1%	23.2%

放送・メディア収入と原価（2024年7月～9月）

(単位：百万円)

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	対前期増減	
放送・メディア収入	42,964	45,643	2,678	6.2%
放送収入	34,598	35,888	1,290	3.7%
ネットタイム	16,325	16,897	571	3.5%
ローカルタイム	2,451	2,584	132	5.4%
スポット	15,820	16,406	585	3.7%
その他の放送・メディア収入	8,366	9,755	1,388	16.6%
配信広告	1,250	2,335	1,085	86.8%
番組販売	3,739	3,703	▲35	▲1.0%
CS放送・その他	3,376	3,716	339	10.1%
放送・メディア原価	33,875	36,084	2,209	6.5%
放送・メディア粗利益	9,089	9,559	469	5.2%

コンテンツ・ビジネス 収入と原価 (2024年7月~9月)

(単位：百万円)

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	対前期増減	
			金額	増減率
コンテンツ・ビジネス収入	17,577	15,382	▲2,195	▲12.5%
催物事業収入	5,442	3,410	▲2,032	▲37.3%
映画事業収入	3,686	1,880	▲1,806	▲49.0%
デジタル事業収入	3,520	5,019	1,498	42.6%
MD事業収入	1,871	2,050	179	9.6%
アニメ開発事業収入	791	1,471	679	85.8%
ビデオ事業収入	953	221	▲732	▲76.8%
その他の収入	1,311	1,329	17	1.4%
コンテンツ・ビジネス原価	12,630	11,549	▲1,081	▲8.6%
コンテンツ・ビジネス粗利益	4,947	3,833	▲1,114	▲22.5%

スポット収入 業種別動向

(2024年7月～2024年9月) ※管理ベース

業種	2023年度 2Qシェア	2024年度 2Qシェア	対前期増減
情報・通信・放送	14.7%	14.4%	0.4%
化粧品・トイレタリー	12.0%	11.5%	▲1.1%
外食・各種サービス	11.9%	9.3%	▲19.4%
食品	7.5%	6.8%	▲7.2%
交通・レジャー・観光	5.6%	6.1%	12.2%
金融・保険	5.7%	5.6%	1.9%
アルコール飲料	4.3%	5.2%	26.0%
自動車・関連品	3.5%	5.1%	52.5%
非アルコール飲料	7.0%	5.0%	▲26.3%

業種	2023年度 2Qシェア	2024年度 2Qシェア	対前期増減
出版・エンタテインメント	4.3%	5.0%	18.9%
医薬品・医療用品	4.5%	4.5%	1.9%
事務・精密・光学機器	4.1%	4.3%	9.0%
流通・小売業	3.8%	3.9%	6.1%
不動産・住宅設備	4.1%	2.9%	▲26.8%
衣料・身回品・雑貨	1.7%	2.4%	43.6%
電話サービス	1.5%	2.2%	57.7%
エネルギー・機械	0.5%	2.0%	300.4%
家電・AV機器	1.2%	1.8%	48.8%
その他	2.0%	2.0%	2.2%

都市開発・観光事業 会社別概要 (2024年7月~9月)

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比
サンケイビル	10,547	13,909	3,362 (31.9%)	2,717	2,751	34 (1.3%)
グランビスタ ホテル&リゾート	8,941	13,613	4,672 (52.3%)	1,817	3,061	1,243 (68.4%)
その他及び セグメント内修正等	4,633	3,665	-	138	152	-

営業利益率		
2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比
25.8%	19.8%	▲6.0%
20.3%	22.5%	2.2%
-	-	-

■参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益		
	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比	2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比
賃貸事業	6,145	6,441	296	1,604	1,521	▲83
販売・売却事業	4,413	7,468	3,054	1,465	1,769	303
ホテルリゾート事業	9,561	14,679	5,118	1,804	3,112	1,307
その他及び セグメント内修正等	4,323	3,345	▲978	▲405	▲435	-

営業利益率		
2023年度 2Q	2024年度 2Q	前期比
26.1%	23.6%	▲2.5%
33.2%	23.7%	▲9.5%
18.9%	21.2%	2.3%
-	-	-

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値等、将来に関する記述が含まれている場合があります。実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

【HP】

<https://www.fujimediahd.co.jp/>

【統合報告書】

<https://www.fujimediahd.co.jp/ir/integrated.html>

